National

アルカリイオン整水器　家庭用

アルカリ工房

取扱説明書

品番 **PJ-A78**

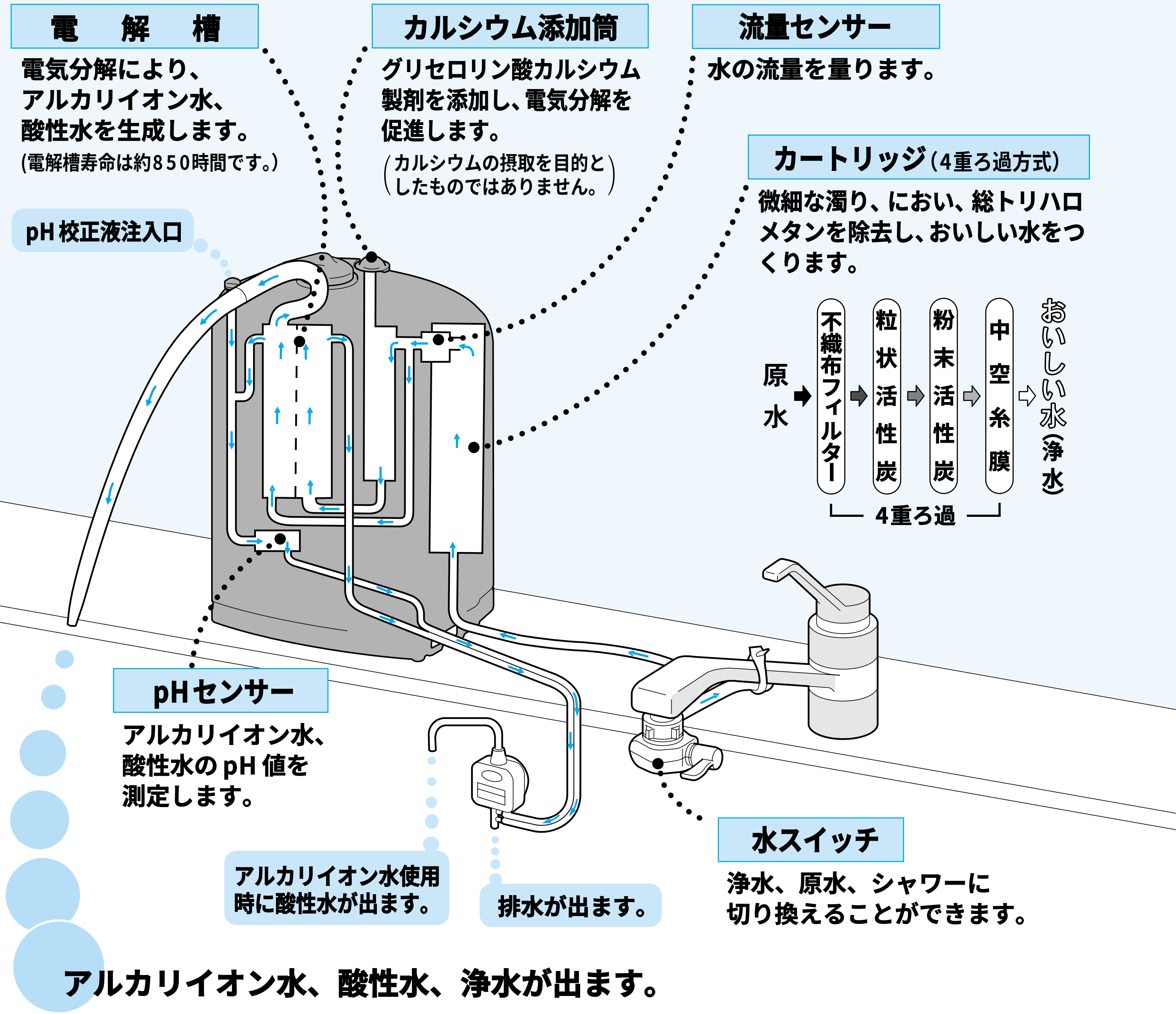
● 実際の製品には、ご使用上の注意ラベルが貼付されています。

このたびは、アルカリイオン整水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
■ 地域・水質によっては、指定の pH 値が得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置前に酸度測定試薬で測定してください。詳しくは販売店にご相談ください。
■ 正しい設置、および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証書別添付　**上手に使って上手に節電**　**医療用具承認番号　20900BZZ00975000**

アルカリイオン整水器のしくみ



アルカリイオン水、酸性水、浄水が出ます。

効能・効果

本器は医療用物質生成器として認可を受けており、下記の効能・効果が認められています。

アルカリイオン水（陰極水）

飲用して
- 慢性下痢　● 消化不良
- 胃腸内異常発酵
- 制酸　● 胃酸過多

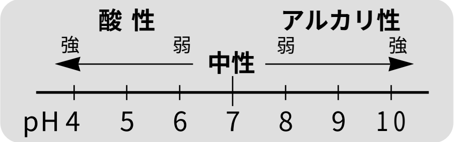
に有効です。

酸　性　水（陽極水）

- 弱酸性のアストリンゼント（化粧水）として美容に用いられます。

メ モ

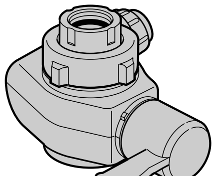
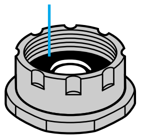
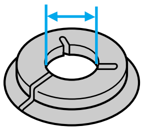
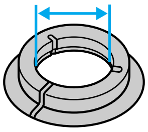
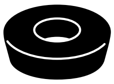
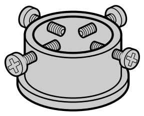
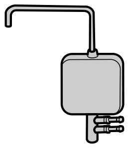
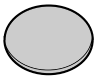
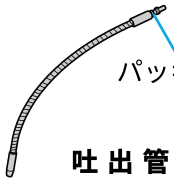
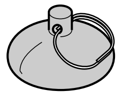
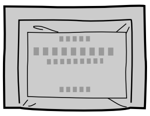
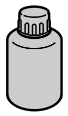
- **pH 値（イオン濃度）とは**
水（水溶液）のアルカリ性・中性・酸性の程度を示すもので、水素イオン指数のことです。



- **総トリハロメタンとは**
クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブロモホルムの4種類の化合物の総称です。
一般的に5〜10分間沸騰させることにより除去できると言われています。
- この説明書内の「通水量」および「1日の使用水量」は、吐水口・酸性水吐水口・排水口からの水量を合計したものです。

付　属　品

ご使用いただく前に、次の付属品をお確かめください。
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。

水スイッチ取り付け用	
 **水スイッチ**	パッキン付  **泡沫用つぎてB**（白色）（ねじ径 22 mm）
16 mm  **取付リング**（小・白色）	19 mm  **取付リング**（大・ベージュ）
 **取付リング用パッキン**	 **取付金具**（ねじ4本付）
本体取り付け用	
 **酸性水スタンド**（排水口付）（吸盤付）	 **取 付 板** **ホース固定バンド**
 パッキン付 **吐 出 管**	 **吸　盤**（1個）（酸性水・排水ホース用）
消　耗　品	
 **グリセロリン酸カルシウム製剤**（6 g入×1袋）	 **pH 校正液**（50 mL）品番：PJW-T8637B（なくさないように保管してください。）
そ　の　他	
スポイト（1本）pH 校正用 品番：PJW-T8620D（なくさないように保管してください。）	
● **水信号ラベル**（53ページ参照） ● **カートリッジ品番ラベル**（53ページ参照）	

もくじ

はじめに

安全上のご注意 ……………………4
各部のなまえとはたらき ……………8

準　備

ご使用の前に ……………………10
- 上手にお使いいただくために ………10
- 準　備 ……………………11
- ご使用上のお願い ……………………12
- **操作パネルの液晶表示について ………13**
- 点字表示について ……………………13
- 水スイッチについて ……………………14

カルシウムを添加する ……………14

使　う

使いかた ……………………16
- **アルカリイオン水を使う ……………16**
- **酸性水を使う ……………………18**
- **浄水を使う ……………………20**
- **原水（水道水）を使う ……………21**

吐水量を量る ……………………22
水の流量を見る ……………………26
お好みの pH 値に変更したいときには…26
クッキングタイマーを使う ………27
洗浄運転について ……………………29

こんなときには

停電・断水したときには …………29
お手入れ ……………………30
カートリッジを交換する …………31
pH 値の測定機能を調節する（pH 校正）…34
Q & A（ご質問にお答えします。）…36
このような表示が出たときには …38
故障かな？と思ったときには ……40
別 売 品 ……………………44
仕　様 ……………………45
本体を移設するときには …………46
保証とアフターサービス …………54

設置する

水スイッチを取り付ける …………47
- 水栓の確認 ……………………47
- 取り付けかた ……………………49

本体を設置する ……………………52

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
⚠ **注意**	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

🛇	**このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。**
❗	**このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。**

⚠ 警告

次の場合は、アルカリイオン水を飲まない

禁　止

- 医薬品を服用する場合
- 無酸症の方

アルカリイオン水を飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善が見られない場合は、医師または薬剤師に相談する

次の方は酸性水（アストリンゼント）を使用する前に、医師または薬剤師に相談する

- 肌の弱い方
- アレルギー体質の方

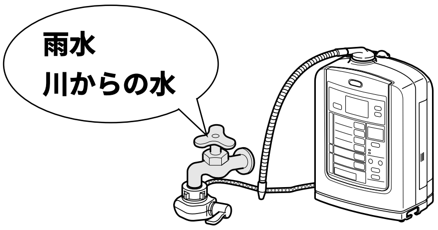
酸性水（アストリンゼント）を使用して、肌に異常を感じたときは、すみやかに使用を中止して医師に相談する

次の方はアルカリイオン水を飲む前に医師または薬剤師に相談する

- 持病のある方または身体の弱っている方
- 肝臓・腎臓に障害のある方
- 医師または歯科医師の治療を受けている方

飲用に合格した水（水道水など）以外には使用しない

禁　止

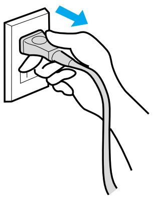


殺菌能力がなく、有害物質が除去できないため、飲むと体調を損なう原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

（ただし、カートリッジ交換時は抜かないでください。）

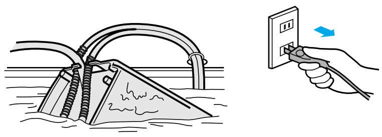
電源プラグを抜く



感電の原因になります。

⚠警告

本体を誤って水中に落としたときは、電源プラグをコンセントから抜き、引き上げる

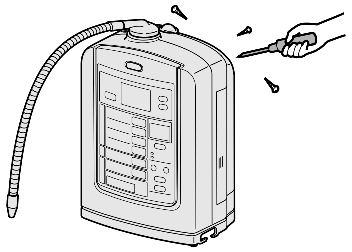


感電の原因になります。

● 修理は販売店にご相談ください。

絶対に分解したり、修理・改造はしない

分解禁止

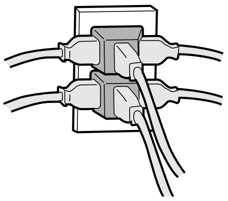


火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店にご相談ください。

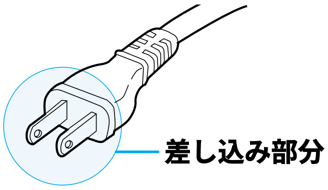
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

禁　止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

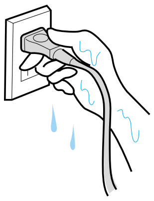


プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しを、しない

ぬれ手禁止



感電の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

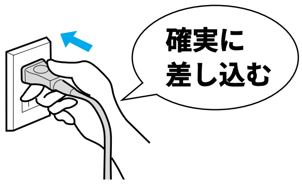
禁　止

・傷つける　・加工する
・熱器具に近づける
・無理に曲げる　・ねじる
・引っ張る　・重いものを載せる
・束ねる　・はさみ込む　など

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

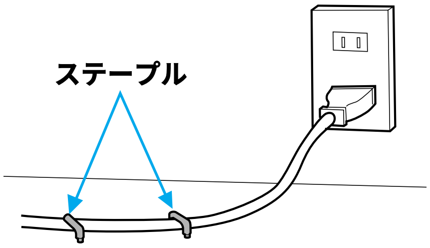


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードをステープル（⊓）などで固定しない

禁　止

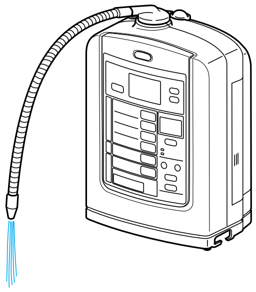


電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

本器の本来機能を発揮するため、使い始めは本体内部の溜まり水を流す



毎日の使い始めは	2日以上使用しなかったときは
約0.8リットル（約15秒間）通水後に使用する	約9リットル（約3分間）通水後に使用する

pH 校正液は、飲んだり、目に入れたり、身体につけたりしない（特にお子様にはご注意ください。）

禁　止

手や肌があれたり、体調を損なうことがあります。

- もし誤って飲んだ場合は多量に水を飲ませて吐かせ、目に入れた場合は水洗いを十分し、すぐに医師に相談してください。（pH校正液の成分については35ページを参照してください。）
- 身体にかかった場合は、十分水で洗い流してください。
- 必ずフタをして、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

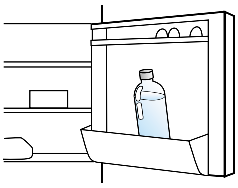
指定のグリセロリン酸カルシウム製剤以外のものは入れない

禁　止

体調を損なうことがあります。

- 付属品または別売品（P-A5101）をお使いください。

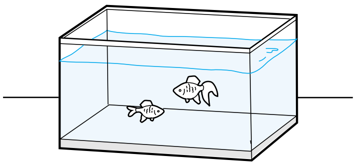
アルカリイオン水や、浄水をくみ置きする場合は、清潔な容器に入れて密閉し、冷蔵庫で保存して2日以内に使う



殺菌剤（カルキなど）が除去されているため、水が変質し、体調を損なうことがあります。

アルカリイオン水や、酸性水・浄水を魚などの飼育水に使用しない

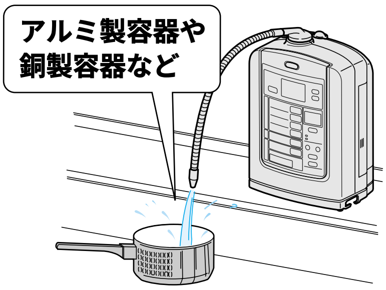
禁　止



環境が変わり、魚などが死ぬ原因になることがあります。

アルカリに弱いアルミ製容器や、酸に弱い銅製容器などは使用しない

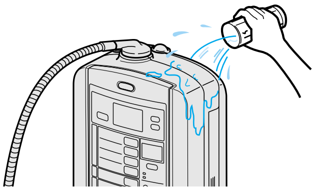
禁　止



容器が変色したり、傷むことがあります。

本体に水をかけたり、洗ったりしない

水ぬれ禁止



漏電・感電の原因になることがあります。

- お手入れは30ページを参照してください。

⚠注意

次のような水は飲まない

禁　止

・酸性水
・排水口から出る水
・「洗浄中」の表示が点滅している
　時に吐水口から出る水

体調を損なう原因になることがあります。

pH 10を超えた水（アルカリ強）を直接飲まない

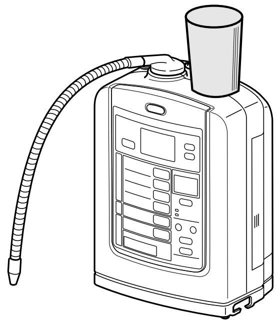
禁　止

体調を損なう原因になることがあります。

- 飲用にはpH 9.5をおすすめします。
- pH 10を超えた水を飲むときは、医師に相談してください。

本体の上にものを置かない

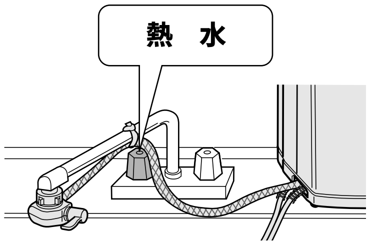
禁　止



落下して、けがの原因になることがあります。

本体側に熱水を通さない

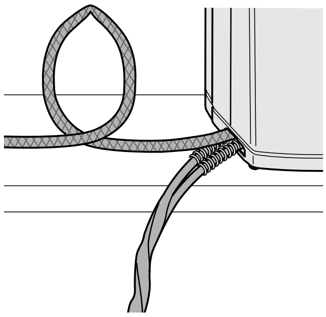
禁　止



やけどの原因になることがあります。

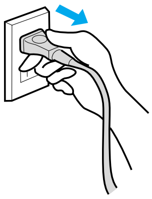
水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない

禁　止



水漏れや設定されたpH値の水が出なくなる原因、または故障の原因になることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときはコードを持たずにプラグをもって抜く



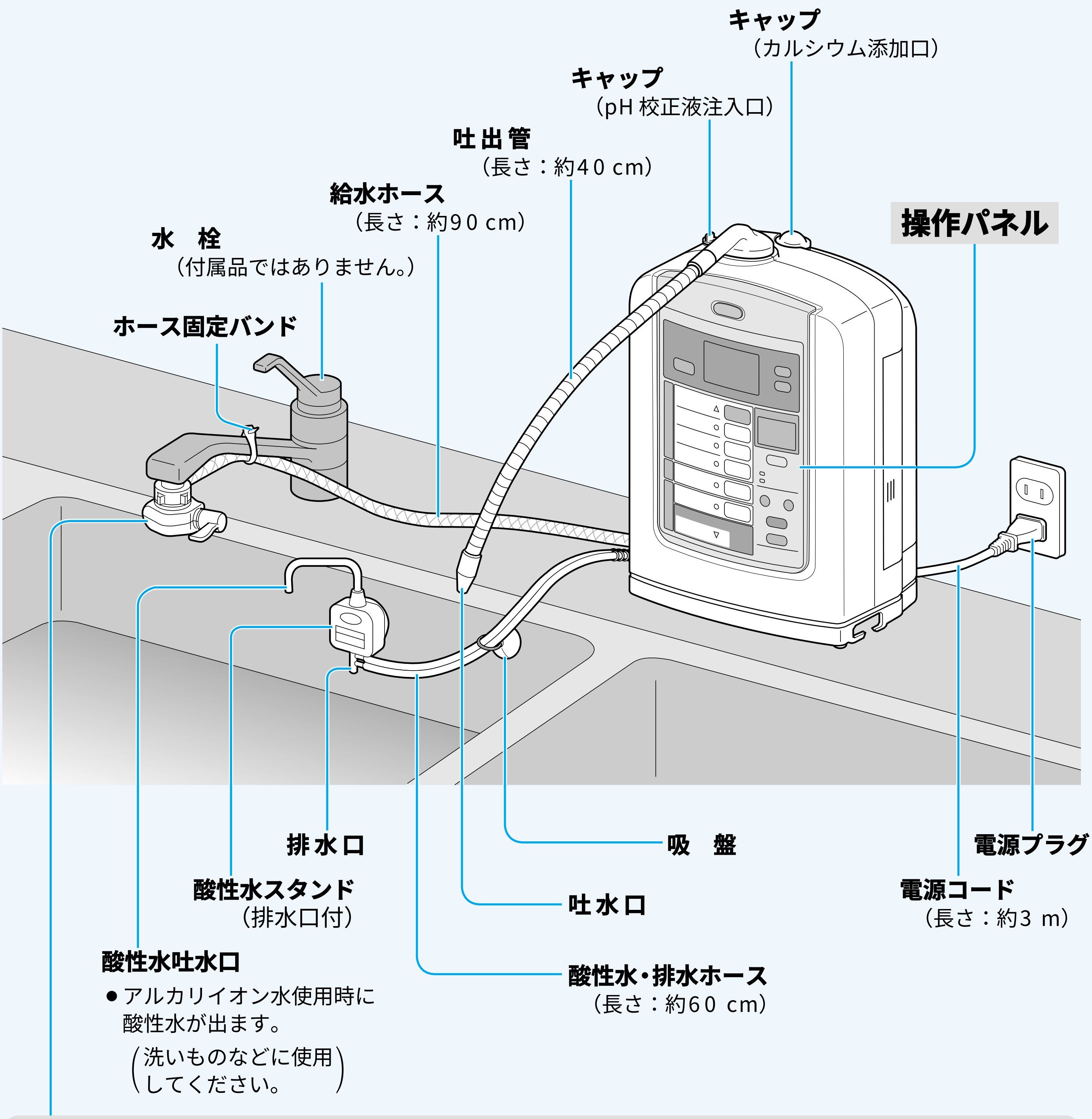
電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

本体を壁に掛けて使用する場合の設置は、必ず販売店または工事店に依頼する

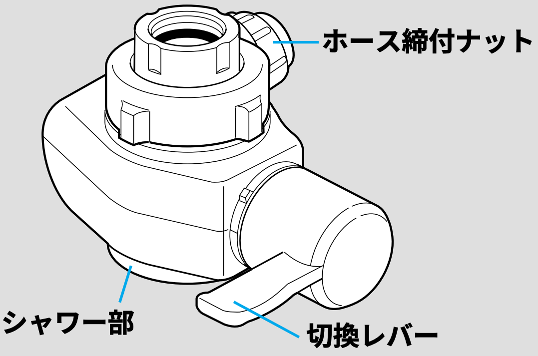
ご自分で設置すると、落下して、事故の原因になることがあります。

- 壁掛けセットは、44ページ「別売品」を参照してください。

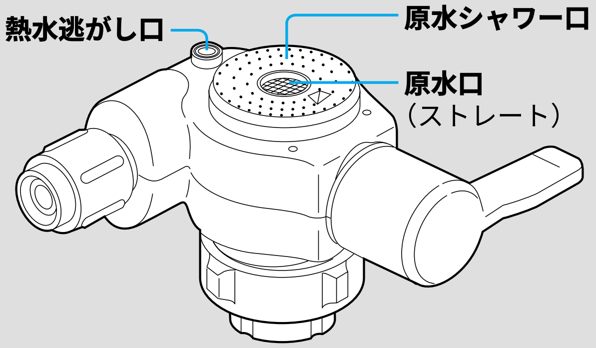
各部のなまえとはたらき



水スイッチ（14ページ参照）



〔 下側から見たとき 〕



操作パネル

水信号ランプ（緑色・赤色）

飲用できる水（アルカリ水・浄水）が出ている時は、緑色に点灯します。
飲用しない水（アルカリ強の水・酸性水）が出ている時は、赤色に点灯します。
（16～21ページ参照）

スタート／解除ボタン

クッキングタイマーをスタートまたは解除するときに押します。
（27、28ページ参照）

表示部2（液晶表示）

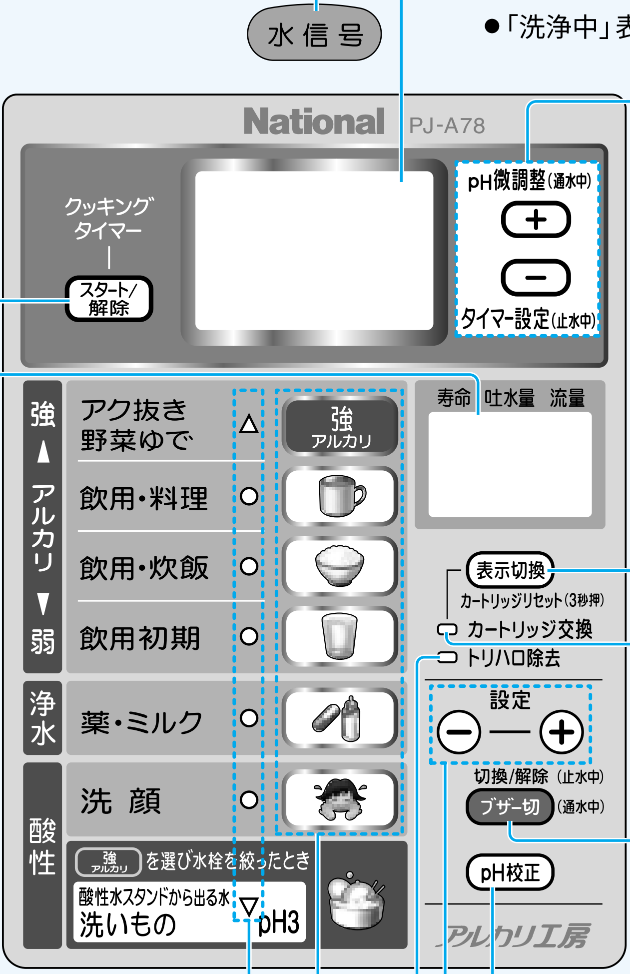
下記を表示します。

- カートリッジ寿命表示
（13、31ページ参照）
- 吐水量表示
（13、22～25ページ参照）
- 流量表示
（13、26ページ参照）
- 異常表示
（38、39ページ参照）

表示部1（液晶表示）

下記を表示します。

- 設定または生成中のpH値、「pH表示」
（16～19ページ参照）
- 「流量調節」表示（17、19ページ参照）
- タイマー設定値、「タイマー表示」
（27、28ページ参照）
- 「pH校正」表示、「pH校正手順」表示
（34、35ページ参照）
- 「洗浄中」表示（29ページ参照）



pH微調整/タイマー設定ボタン

pH値を微調整するときやクッキングタイマーを設定するときに押します。
（26～28ページ参照）

表示切換/カートリッジリセットボタン

- 表示部2の表示を切り換えます。（13ページ参照）
- カートリッジを交換した後に押します。
（33ページ参照）

カートリッジ交換ランプ（赤色）

交換の時期をお知らせします。（31ページ参照）

ブザー切/切換・解除ボタン

- 酸性ブザー・吐水量ブザーを止めるときに押します。
（19、22ページ参照）
- 吐水量表示の設定・補正をするときに押します。
（24、25ページ参照）

水質表示ランプ

選んだ水質が点灯します。

水　質	ランプの色	参照ページ
アルカリ	黄緑色・オレンジ色	16
浄　水	黄　緑　色	20
酸　性	赤　色・オレンジ色	18、17

水質切換ボタン

水質の切り換えをします。（16、18、20ページ参照）

- ボタン上に点字表示をしています。（13ページ参照）

pH校正ボタン

pHセンサーの測定機能を調節するときに押します。（34、35ページ参照）

- pH校正時以外は押さないでください。
- 設置直後はpH校正の必要はありません。

吐水量表示設定ボタン

吐水量表示の設定・補正をします。
（23～25ページ参照）

トリハロ除去ランプ（黄緑色から黄色に変わる）

総トリハロメタンの除去能力をお知らせします。
（31ページ参照）

メ モ

●操作パネルのランプ表示について

この説明書では、操作パネルのランプを右記のように表示しています。

［消灯］	［点灯］	［点滅］
○	●	●

お知らせ

- 水質表示ランプ以外のランプは、水栓を閉めてから、またはボタン操作が終わってから、約30秒後に消えます。（節電のため）

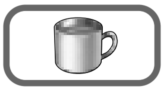
ご使用の前に

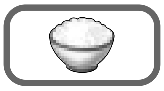
上手にお使いいただくために　（用途に合わせてお使いください。）

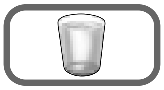
お知らせ

- **生成されたアルカリイオン水や酸性水の pH 値が表示部1の pH 値と異なることがあります。**
  （水の中に溶け込んでいる炭酸ガスや各種成分の影響のため）
  「アルカリ（飲用初期）」「アルカリ（飲用・炊飯）」「酸性」のときは顕著に現われることがあります。

この説明書では下記を総称して**「アルカリ」**と表現しています。

アルカリ（飲用・料理） 

アルカリ（飲用・炊飯） 

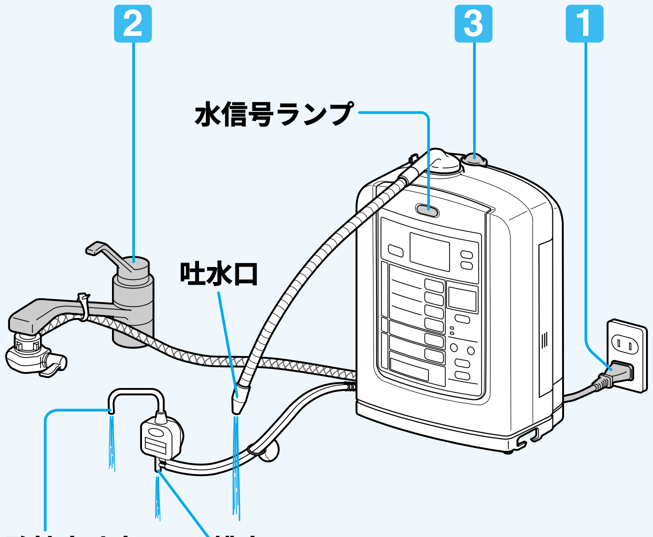
アルカリ（飲 用 初 期） 

→ 水質切換ボタンに設定されている pH 値を微調整して、変更することができます。（26ページ参照）

表示される pH 値	用　　途	お 知 ら せ
10.3	●ゴボウやコンニャクのアク抜き ●ホウレン草のおひたし など	直接飲まないでください。
9.5	●コーヒー　●紅茶　●日本茶 ●煮物　●鍋物　●汁物 など	●飲用には pH 9.5をおすすめします。 ●炊飯には pH 9をおすすめします。 （ご飯がべたつくときは37ページを参照してください。）
9.0	●ご飯　●ちらし寿司 ●きのこご飯 など	
8.5	アルカリイオン水を初めて飲むとき	
——	薬の服用時やミルクの溶き水など	●ろ過された不純物の少ない水です。 ●電気分解されていない水です。
5.5	洗　顔	アストリンゼント（化粧水）として美容に用いられます。

2.8〜3.5 （pH 3の水質表示ランプが点灯したときは、pH 3程度）	食器の茶しぶとり、魚料理をしたあとのにおいとりなどに	強 アルカリ を押し、水栓を絞ると酸性水吐水口から pH 3程度の酸性水が出てきます。

準　備



1 **水スイッチ・本体を設置し、電源プラグを差し込む**（47〜53ページ参照）

▼

2 **約3〜4分間アルカリイオン水を通水する**
（本体内の空気抜きのため）
●水信号ランプが約23秒間点滅後に点灯します。

▼

お 願 い

- **吐水口、酸性水吐水口および排水口から水が出ていることを確認してください。**
  酸性水吐水口および排水口から水が出ていない場合は、42ページを参照してください。
- **酸性水を通水し、吐水口および排水口から水が出ていることを確認してください。**
  水が排水口から出ずに酸性水吐水口から出ている場合は、42ページを参照してください。

3 **カルシウムを添加する**
（14、15ページ参照）

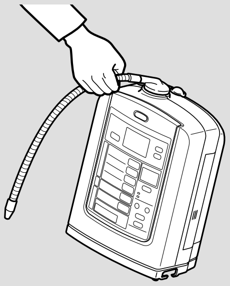
▼

使　う（16〜21ページ参照）

ご使用の前に(つづき)

ご使用上のお願い

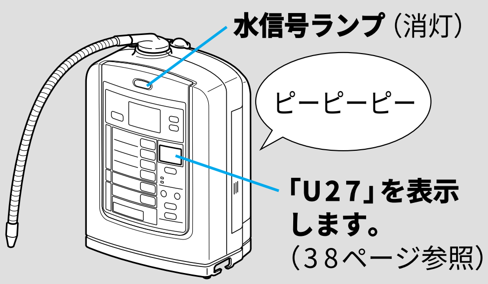
- **吐出管を持って、本体を持ち上げないでください。**
  (破損の原因)



- **アルカリイオン水または酸性水は、下表の時間以上連続して使用しないでください。**
  下表の時間以上連続して使用すると、機器保護のため、電気分解を中止します。
  (ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、水信号ランプが消灯します。)
  その後、吐水口からは浄水が出ます。

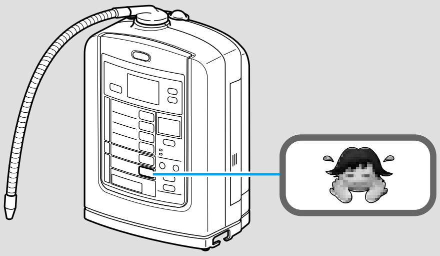
➡水栓を閉め、約3分間待って使用してください。

アルカリ強	約15分
アルカリ(飲用・料理)	約15分
アルカリ(飲用・炊飯)	約1時間
アルカリ(飲用初期)	約1時間
酸　　性	約15分



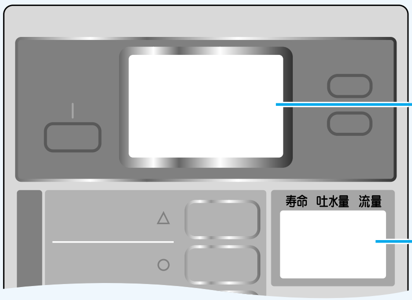
- **水質の※硬度が高い地域で使用するときは…**
  ・毎日1回、使用する前に約1分間、酸性水を通水してください。
  (通水路に付着したカルシウムを洗い流すため)
  ・1年に1回程度、別売品の「本体洗浄用カートリッジ」で洗浄してください。(45ページ参照)

  ※硬度が高い地域では、石けんの泡立ちが悪かったり、やかんや鍋などに白いもの(カルシウム)が付着します。



- **製品本体には35 ℃以上の温水は通水しないでください。**
  (故障またはカートリッジに吸着した総トリハロメタンの一部が放出される原因)
- **地域・水質によっては、指定のpH値が得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置前に酸度測定試薬で測定してください。詳しくは販売店にご相談ください。**
- **次のような水は通水しないでください。**(故障の原因)
  ・濁りのひどい水　　・赤サビの多い水
- **海水などの塩分を含んだ井戸水(海岸近くの井戸水)は、通水しないでください。**(故障の原因)

操作パネルの液晶表示について

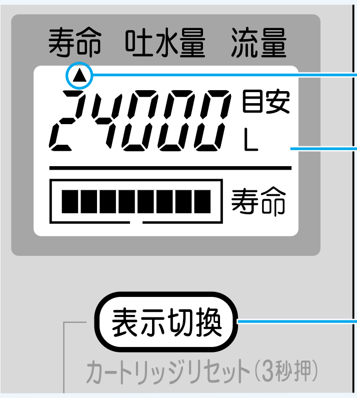


表示部1（液晶表示）

表示部2（液晶表示）

液晶表示は、水栓を閉めてから、またはボタン操作が終わってから、約30秒後に消えます。（節電のため）
ただし、クッキングタイマーカウント中は消えません。
本体に通水する、またはボタン操作を行うと、点灯します。

表示部2（液晶表示）**には、カートリッジ寿命・吐水量・流量を表示します。**



マーク

表示部2
（液晶表示）

表示切換ボタン

表示は （表示切換） を押して切り換えます。

※ 出荷時は、カートリッジ寿命を表示する「寿命」に設定されています。

お知らせ

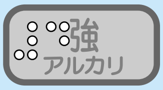
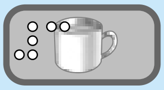
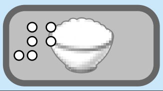
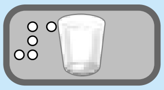
- 停電したときや、電源プラグを一度抜き、再度差し込んだときは、カートリッジ寿命表示に戻ります。

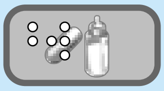
（表示切換） を押すごとに、表示部2は下記のように変わります。

- **カートリッジ寿命表示**
（31ページ参照）
- **吐水量表示**
（22～25ページ参照）
- **流量表示**
（26ページ参照）

点字表示について

操作パネルの水質切換ボタン上に、点字表示をしています。表示の内容は下表のとおりです。

水質切換ボタン	表示内容	お知らせ
	4	アルカリの強さを「1～4」の数字で表示しています。 ※ 1→2→3→4 の順にアルカリが強くなります。
	3	
	2	
	1	

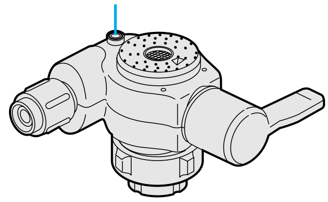
水質切換ボタン	表示内容	お知らせ
	じょ	浄水（じょうすい）の「じょ」を表示しています。
	さ	酸性水（さんせいすい）の「さ」を表示しています。

ご使用の前に(つづき)

水スイッチについて

使用中、次のような場合は、水スイッチの「熱水逃がし口」から水が出ます。

〔 下側から見たとき 〕



● **万一、本体側に熱水を通した場合**

熱水逃がし口より熱水が出ます。
(カートリッジ保護のため、熱水ガード機構(作動温度:約60 ℃以上)が働くため)
・「ビー」と音がすることがありますが、異常ではありません。

➡ **すぐに熱水を止めて、冷却のために水を約0.5リットル(約10秒間)本体に通水してください。**
・しばらくは熱水逃がし口から水が出ますが、異常ではありません。

お 願 い

● **アルカリイオン水、酸性水、浄水を使用するときは、必ず水スイッチのレバーを「浄水」にしてください。**

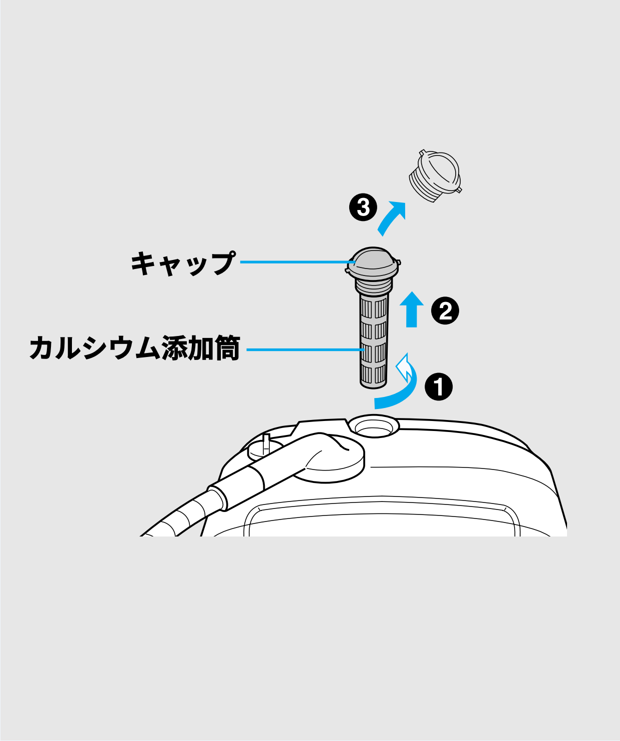
● 使うことができる水温は右表の通りです。
この温度で使用してください。(故障の原因)

切換レバーの位置	水　温
浄　　水	35 ℃未満
原　　水	80 ℃未満
シャワー	80 ℃未満

カルシウムを添加する

電気分解を促進するためにグリセロリン酸カルシウム製剤を使用します。
※ 指定のpH値が得られない場合などに効果を現すもので、**カルシウムの摂取を目的としたものではありません。**

■ 添加のしかた(石けんなどで手をよく洗ってから添加してください。)



1 水栓を閉める

2 キャップを左に回し、カルシウム添加筒を取り出す

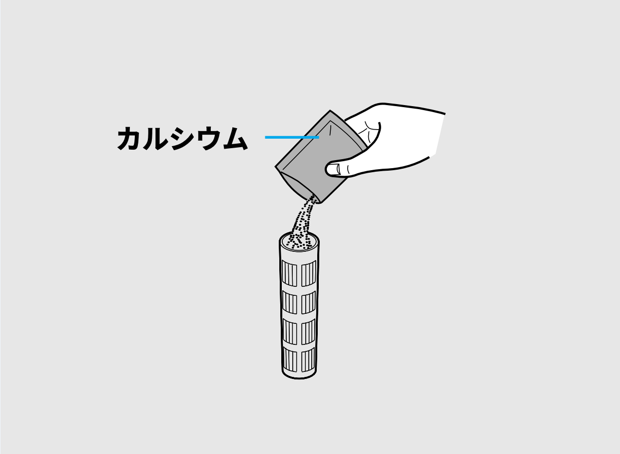
3 添加筒からキャップをはずし、添加筒とキャップの内側を水で洗う (水を振り切る)

● 補充の際に添加筒内やキャップの内側にカルシウムが残っている場合は、きれいに取り除いてください。
(残っているものは、カルシウムが流出した後の残留物です。)

● カルシウムがどろっとした状態で残っている場合は、水を掛けながら、はしなどを使って取り除いてください。

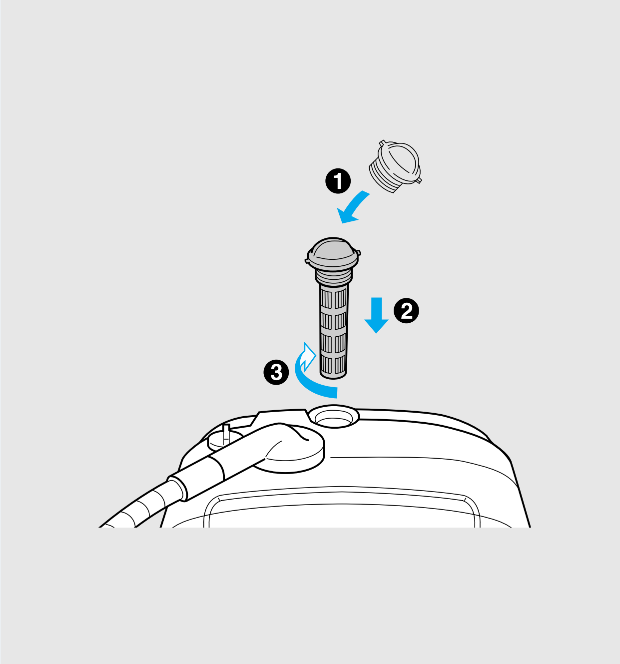
● 添加筒の網を破らないように注意してください。

カルシウムを添加する



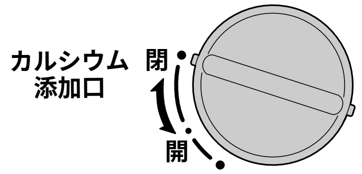
4 カルシウム1袋（6 g）を入れる

●袋はハサミなどで切ってください。
●カルシウムがこぼれないように、ゆっくり入れてください。



5 添加筒にキャップを付け、本体に取り付ける

（キャップを取り付けずに通水すると、水があふれます。）



●**閉**の位置まで確実に締めてください。

お願い

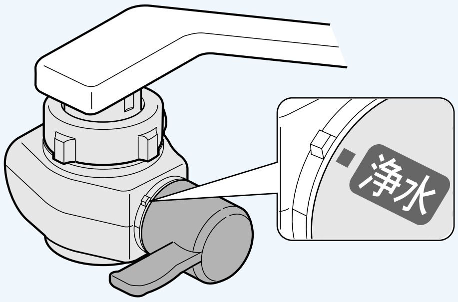
●長期間（目安：約10日間以上）使用しないときは、残っているカルシウムはきれいに取り除いてください。
●専用のグリセロリン酸カルシウム製剤は、お買い上げの販売店またはナショナル・パナソニックの製品を扱っている販売店で購入してください。
（44ページ参照。別売品のグリセロリン酸カルシウム製剤は、本体付属品と包装の形態が異なります。）
●**カルシウム添加筒の汚れやにおいが気になる場合は、別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。定期的に洗浄されると、より効果的です。**（45ページ参照）

お知らせ

●グリセロリン酸カルシウム製剤（カルシウム）は、アルカリイオン水、酸性水、浄水のすべてに添加されます。
●カルシウム補充の目安は**約7日間（1日30リットル使用した場合）**です。
※ 使用水量が少なく、カルシウムが残っている場合は、1ヵ月以内に取り除き、よく洗ってから新しいカルシウムを入れてください。
●カルシウムの溶けかたは、水質・水温・使用条件などにより異なります。

使いかた

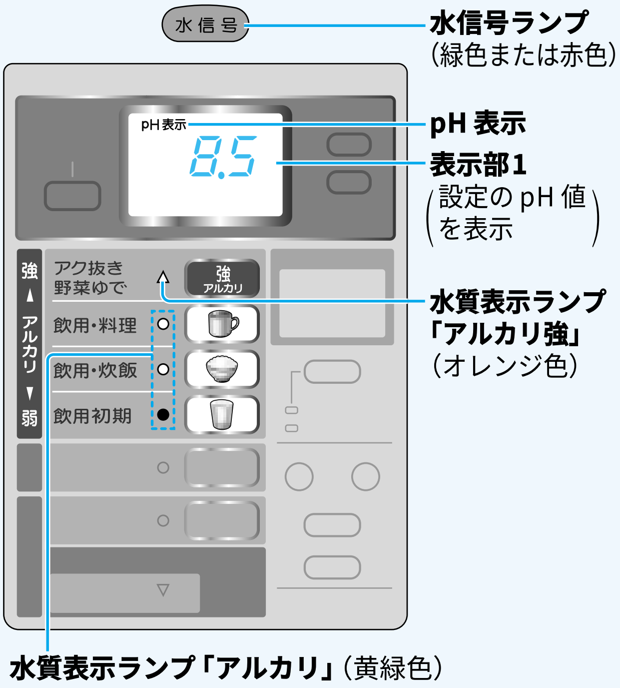
アルカリイオン水を使う



1 水スイッチを
「浄水」に切り換える

2 使用する
「アルカリ」または「アルカリ強」のボタンを押す

（「ピッ」と鳴る）
- 表示部1に「pH 表示」が点灯し、pH 値が表示されます。
- 水質表示ランプが点灯します。
  - ・「アルカリ」の場合：黄緑色
  - ・「アルカリ強」の場合：オレンジ色

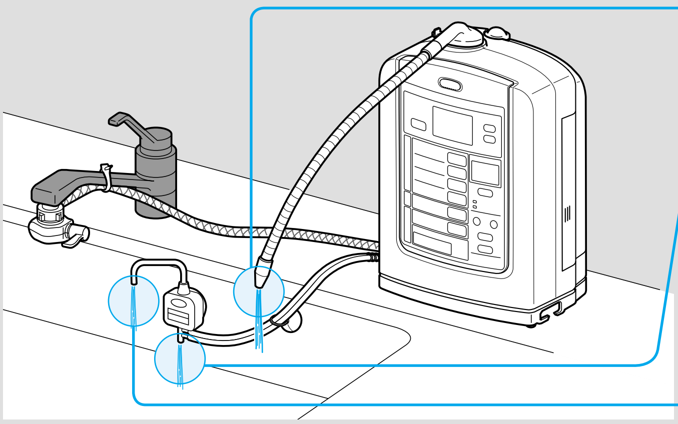


3
水栓を開ける

- 水信号ランプが点滅（約3秒間）後、点灯し、ブザーが「ピッ・ピッ」と2回鳴ると使用できます。
〔水信号ランプの色〕
  - ・「アルカリ」の場合：緑色
  - ・「アルカリ強」の場合：赤色

水信号が点滅中（約3秒間）は、表示部1は「7.0」から、設定の pH 値になるまで数値が変わります。

4 ブザーが「ピッ・ピッ」と2回鳴ってから
使　う

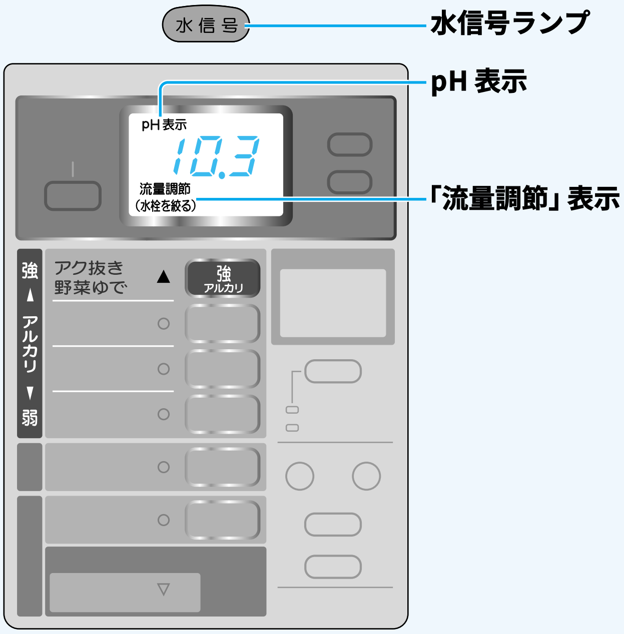


吐 水 口
- アルカリイオン水が出ます。

排 水 口
- 排水が出ます。（使用できません。）
（使用中に排水していることを確認してください。）
- 水栓を閉めた後も、本体内の水を抜くため、約９０秒間少しずつ排水が出ます。
その後も排水することがあります。

酸性水吐水口
- 酸性水が出ます。
（ためて食器洗いなどに使用できます。 １７、３７ページ参照）

お知らせ
- **２４時間以上使用していないと、通水したときに「ピッピッ…」とブザーが鳴り、自動的に洗浄運転に入ります。**（水信号ランプが約１５秒間点滅）**このとき吐水口から出る水は使用しないでください。**（２９ページ参照）



■ [強 アルカリ] を選んだとき

「アルカリ強」を使用後、水栓を閉めると、使用する前に設定していた「アルカリ」に戻ります。

■「流量調節」表示が点灯したとき

水の流量が多すぎて、設定したpH値に達しないときに点灯します。

▼

「流量調節」表示が消える（流量約5.0 L／分）まで、水栓を**ゆっくりと絞ってください。**

※「流量調節」表示点灯中は、「（水栓を絞る）」の表示が点滅します。

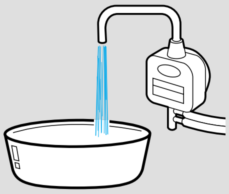
お知らせ

- 「アルカリ強」を使用しているときは、流量調節表示が点滅しやすくなります。
（この場合、流量約2.2 L／分で消えます。）
- 表示部2に水の流量を表示し、流量調節時の目安にすることができます。
「水の流量を見る」（26ページ）を参照してください。

■ 水信号ランプが消灯したとき

水栓を絞りすぎたり、水圧の変化で流量が低下すると、水信号ランプが消灯します。
もし、水信号ランプが消灯したときは、再度水栓を開いて流量を調節してください。
「アルカリ強」で使用していたときは、前に設定していた「アルカリ」に戻りますので、再度 [強 アルカリ] を押し、水栓を開いて流量を調節してください。

酸性水吐水口から出る酸性水について



アルカリイオン水を使用すると、酸性水吐水口から酸性水が出ます。ためて、食器洗いなどにお使いください。
（pH値の目安については、37ページ参照）

■ 酸性水吐水口からpH 3程度の酸性水を出したいときは

[強 アルカリ] を押し、「pH 3」の水質表示ランプが点灯するまで水栓を**ゆっくり絞ってください。**
酸性水がpH 3程度になったとき、水質表示ランプは「アルカリ強」と「pH 3」が点灯（オレンジ色）します。

⚠ 注意

■ アルカリイオン水を初めて飲む方は、「アルカリ（飲用初期）」から使用し（約1～2週間）、体調に応じて「アルカリ（飲用・炊飯）」または「アルカリ（飲用・料理）」で飲む

体調を損なうことがあります。

■ アルカリイオン水使用中に酸性水吐水口から出る酸性水は、アストリンゼント（化粧水）として使用しない

禁止

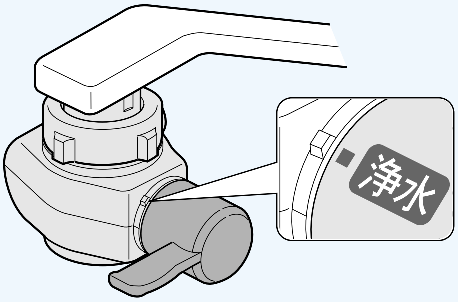
使用すると肌に異常を感じることがあります。

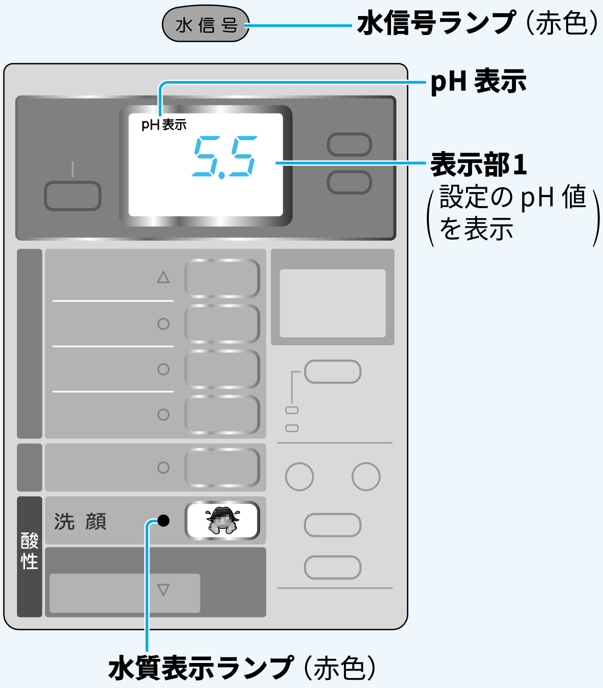
- ためて食器洗いなどに使用してください。
- アストリンゼントには [ボタン] を押して吐水口から出る弱酸性水をお使いください。

使う

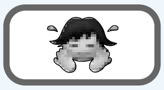
使いかた(つづき)

酸性水を使う





1 水スイッチを「浄水」に切り換える

2  を押す（「ピッ」と鳴る）

- 表示部1に「pH 表示」が点灯し、pH 値が表示されます。
- 水質表示ランプ（赤色）が点灯します。

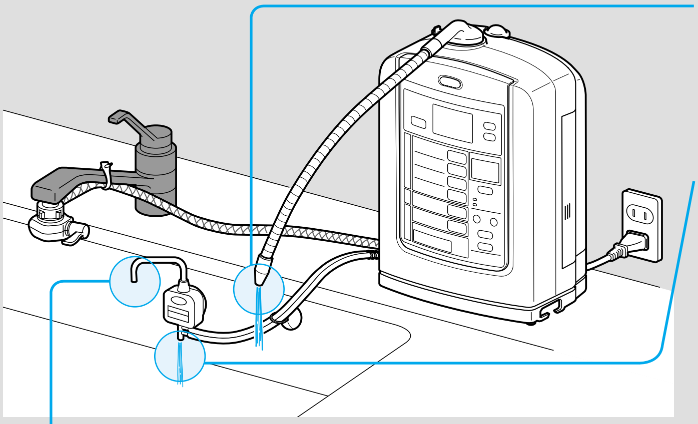
3 水栓を開ける（ブザーが鳴り続ける）

- 水信号ランプが赤色に点滅します。（約3秒間）
- 水信号ランプが赤色に点灯すると使用できます。

水信号が点滅中（約3秒間）は、表示部1は「7.0」から、設定の pH 値になるまで数値が変わります。

4 水信号ランプが点灯してから使　う

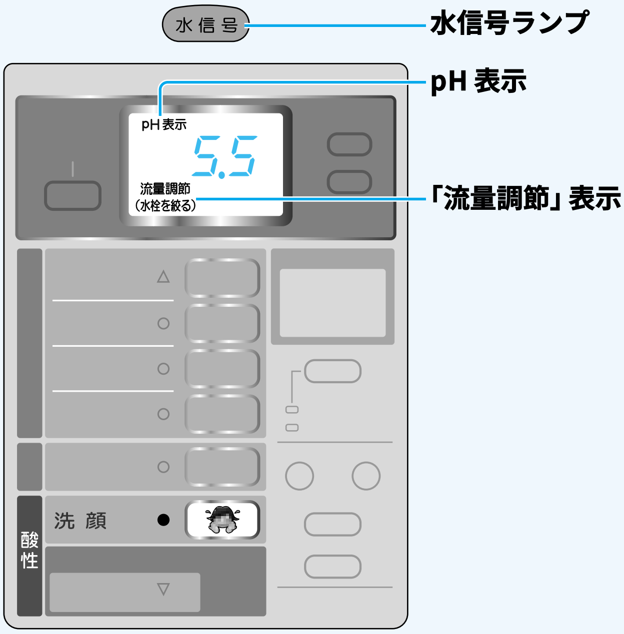
- 水栓を閉めると、酸性水を使う前に設定していた「アルカリ」に戻ります。



吐 水 口
- 酸性水が出ます。

排 水 口
- 排水が出ます。（使用できません。）
（使用中に排水していることを確認してください。）
- 水栓を閉めた後も、本体内の水を抜くため、約90秒間少しずつ排水が出ます。
その後も排水することがあります。

酸性水吐水口
- 水は出ません。



■「流量調節」表示が点灯したとき

水の流量が多すぎて、設定した pH 値に達しないときに点灯します。

▼

「流量調節」表示が消える（流量約3.0 L／分以下）まで、水栓を**ゆっくりと絞ってください。**

※「流量調節」表示点灯中は、「（水栓を絞る）」の表示が点滅します。

お知らせ

● 表示部2に水の流量を表示し、流量調節時の目安にすることができます。「水の流量を見る」（26ページ）を参照してください。

■ 水信号ランプが消灯したとき

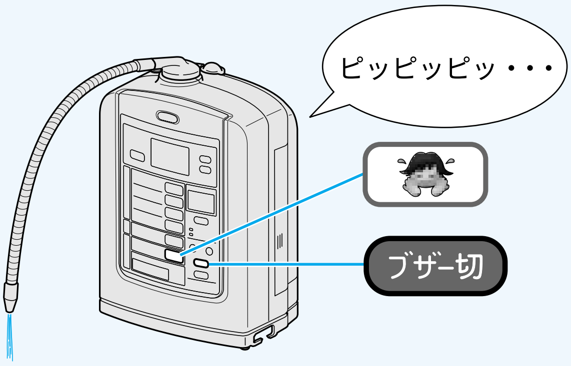
水栓を絞りすぎたり、水圧の変化で流量が低下すると、水信号ランプが消灯し、酸性水を使う前に設定していた「アルカリ」に戻ります。
もし、「アルカリ」に戻ったときは、再度［洗顔］を押し、水栓を開いて流量を調節してください。

お知らせ

● pH3程度の酸性水を出したいときは、17ページの「酸性水吐水口から出る酸性水について」を参照してください。

酸性ブザーについて

「酸性」を使用しているときは、警告のためブザーが鳴り続けます。
（まちがって飲用しないように、お知らせしています。）

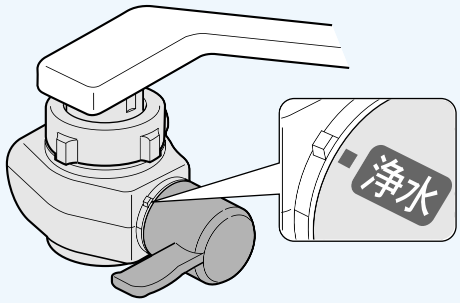


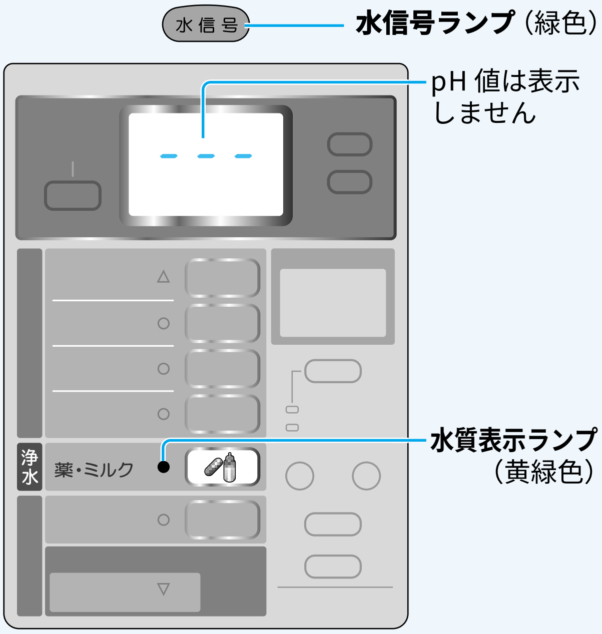
内　　容	操作のしかた	お知らせ
ブザーを止めたいときは	ブザーが鳴っているときに［ブザー切］を押す	再度、酸性水を使用すると、ブザーが鳴ります。
ブザーが鳴らないようにしたいとき	本器に通水していないときに［洗顔］を「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴るまで押す（約3秒間）	酸性水を使用しても、ブザーは鳴りません。
再度、ブザーが鳴るようにしたいとき	本器に通水していないときに［洗顔］を「ピー」と鳴るまで押す（約3秒間）	酸性水を使用すると、ブザーが鳴ります。

使いかた(つづき)

浄水を使う

●浄水とは、本器を通してろ過された水です。電気分解されていません。





1 水スイッチを「浄水」に切り換える

2 [ボタン] を押す（「ピッ」と鳴る）

●水質表示ランプ（黄緑色）が点灯します。

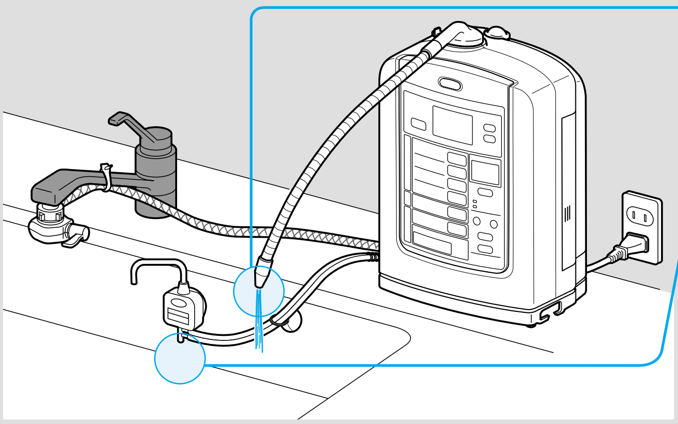
3 水栓を開ける

●水信号ランプが緑色に点滅します。（約3秒間）

●水信号ランプが緑色に点灯し、ブザーが「ピッ・ピッ」と2回鳴ると使用できます。

4 ブザーが「ピッ・ピッ」と2回鳴ってから 使　う

●水栓を閉めると、浄水を使う前に設定していた「アルカリ」に戻ります。



吐 水 口

●浄水が出ます。

排 水 口

●水栓を閉めた後、本体内の水を抜くため、約90秒間少しずつ排水がでます。その後も排水することがあります。（排水は使用できません。）

お知らせ

● **24時間以上使用していないと、通水したときに「ピッピッ…」とブザーが鳴り、自動的に洗浄運転に入ります。**（水信号ランプが約15秒間点滅）**このとき吐水口から出る水は使用しないでください。**（29ページ参照）

■ 水信号ランプが消灯したとき

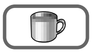
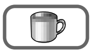
水栓を絞りすぎたり、水圧の変化で流量が低下すると、水信号ランプが消灯し、浄水を使う前に設定していた「アルカリ」に戻ります。もし、「アルカリ」に戻ったときは、再度 を押し、水栓を開いてください。

お知らせ

- 表示部2に水の流量を表示し、確認することができます。「水の流量を見る」(26ページ)を参照してください。

「アルカリ」に戻らないようにしたいとき

「浄水」使用後に水栓を閉めたとき、または「浄水」使用中に流量が低下して水信号ランプが消灯したとき、「アルカリ」に戻らないようにすることができます。
※通常は、「アルカリ」に戻ります。

内　容	操作のしかた	お知らせ
「アルカリ」に戻らないように設定する	本器に通水していないときに  を「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴るまで押す（約3秒間）	使用後に水栓を閉める、または使用中に水信号ランプが消灯しても、「アルカリ」には戻りません。
設定を解除する	本器に通水していないときに  を「ピー」と鳴るまで押す（約3秒間）	使用後に水栓を閉める、または使用中に水信号ランプが消灯すると、自動的に「アルカリ」に戻ります。

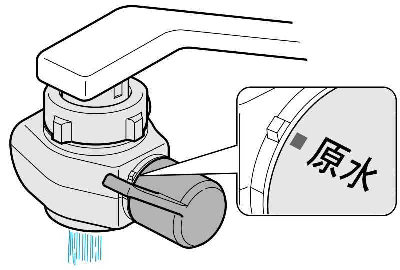
お知らせ

- 「アルカリ」に戻らないように設定していても、下記の場合には、自動的に「アルカリ」に戻りますが、設定は解除されていません。
  - ・停電したとき
  - ・電源プラグを一度抜き、再度差し込んだとき

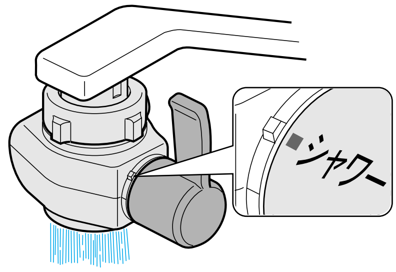
原水（水道水）を使う　● 原水とは水道水そのままの水です。

水スイッチのレバーを「原水」または「シャワー」に切り換えます。

水流が**ストレート**



水流が**シャワー**



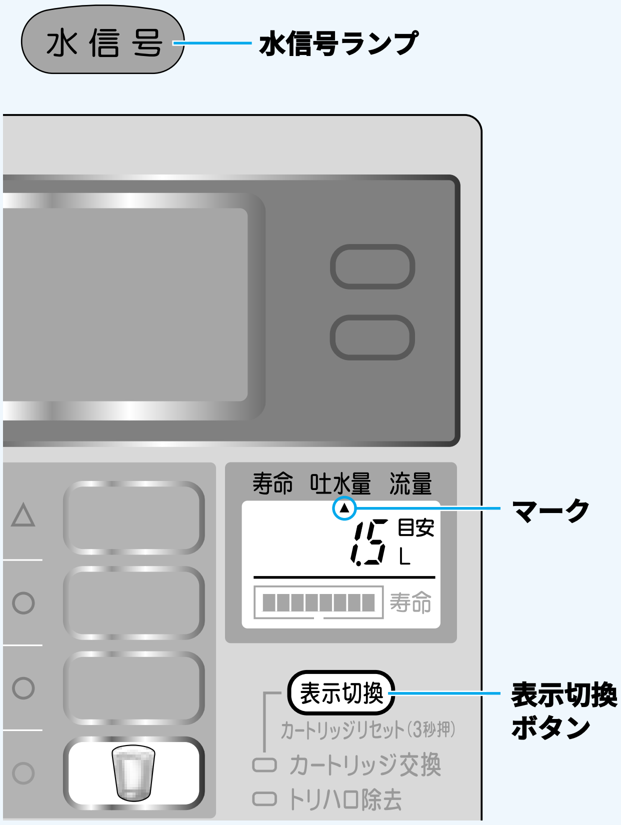
お願い

- 水スイッチには、80 ℃以上の熱水は通さないでください。（故障の原因）

吐水量を量る

通水するたびに吐水量（吐水口から出る水の量）を積算し、0.1リットル単位で表示部2に表示します。（吐水量表示）

吐水量を量るには、まず、24ページの手順に従い「吐水口と酸性水吐水口の高低差」を設定されることをおすすめします。（吐水量表示の精度を上げるため）



吐水量ブザーを止めたいときは…

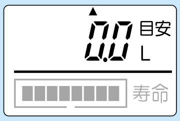
内　容	操作のしかた
ブザーを止めたいとき	［ブザー切］を押す（23ページ参照）
ブザーが鳴らないようにしたいとき	本器に通水していないときに［ボタン］を「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴るまで押す（約3秒間）
再度、ブザーが鳴るようにしたいとき	本器に通水していないときに［ボタン］を「ピー」と鳴るまで押す（約3秒間）

1 水栓を閉め

［表示切換］を押して、マーク（▲）を「吐水量」に合わせる

- 表示部2が下記のように変わります。

表示部2
（例）

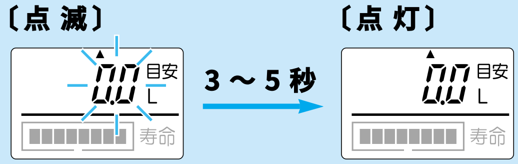


2 使用する水質切換ボタンを押してから、

水栓を開ける

- 吐水量表示が、点滅します。
- 水信号ランプと吐水量表示が点滅（3～5秒間）後、点灯に変わるとカウントがはじまります。

表示部2



3 吐水量を量る

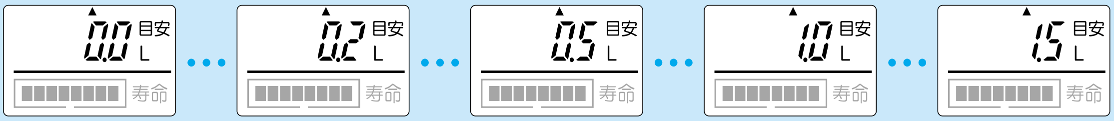
- 吐水量約0.2リットルごとに、**吐水量ブザー**が「ピッ」と鳴ります。
- 酸性水を使用しているときは、吐水量ブザーは鳴りません。（酸性ブザーが鳴るため）
  吐水量ブザーが鳴るようにしたいときは、酸性ブザーを止めるか、鳴らないように設定してください。（19ページ参照）

4 吐水量表示が量りたい数値になったら、

水栓を閉める

〔1.5リットルを量る場合〕

表示部2　〔点 灯〕　水栓を閉める



- カウント開始
- ブザーが「ピッ」と鳴る
- ブザーが「ピッ」と鳴る

お願い

- 吐水量表示と実際の吐水量に大きな差がある場合は、「吐水量表示の補正」をしてください。（25ページ参照）

量りたい数値になったらブザーが鳴るように設定する

設定した数値になると、**お知らせブザー**が鳴ります。

設定する範囲	＋	表示	−	表示
0.6〜2.0 リットルまでは	一回押すごとに	**0.2**ずつ 大きくなる	小さくなる	**0.2**ずつ 小さくなる
2.0〜5.0 リットルまでは	大きくなる	**0.5**ずつ 大きくなる	一回押すごとに	**0.5**ずつ 小さくなる

水信号ランプ

吐水量表示設定ボタン

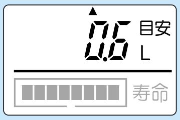
ブザー切/切換・解除ボタン

水栓を閉めた状態で、量りたい数値になるまで

1 ＋または−を押す

- 表示部2が吐水量表示に変わります。
- 設定できる範囲は、**0.6〜5.0リットル**です。
- 設定できる数値は
  0.6〜2.0リットルまでは、**0.2リットル単位**
  2.0〜5.0リットルまでは、**0.5リットル単位**

表示部2
（例）
0.6リットル



※2回目以降は、前回設定した数値を表示します。

〔設定を中止するときは〕

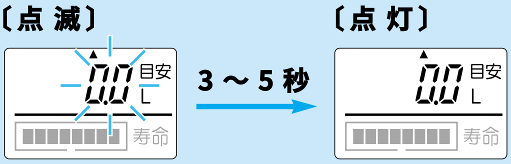
切換/解除
ブザー切 **を押す**（「ピー」と鳴る）

使用する水質切換ボタンを押してから、

2 水栓を開ける

- 吐水量表示が「0.0」に変わり、点滅します。
- 水信号ランプと吐水量表示が点滅（3〜5秒間）後、点灯に変わるとカウントがはじまります。

表示部2



吐水量が設定した数値になったら
ブザーが「ピー」と鳴る

ブザーが「ピー」と鳴ったら、

3 水栓を閉める

- **別売品の電磁弁アダプターを設置されている場合は**
  自動的に水が止まります。〔定量止水機能〕
  （44ページ参照）

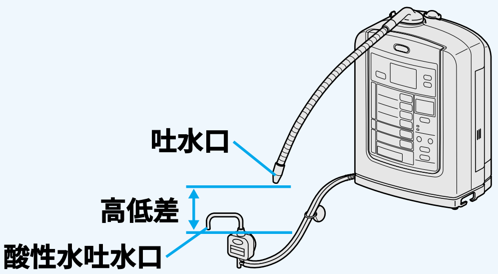
お知らせ

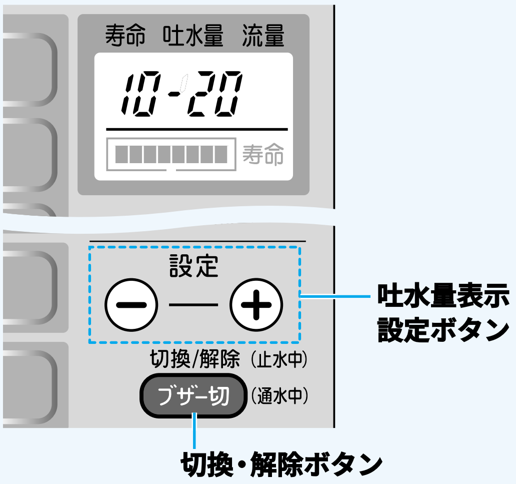
- 設定した数値を超えても水栓を閉めない場合は、そのままカウントがつづき、吐水量を表示します。
  この場合、吐水量約0.2リットルごとにブザーが「ピッ」と鳴ります。

吐水量を量る(つづき)

吐水口と酸性水吐水口の高低差の設定

吐水量表示の精度を高めるため、設定されることをおすすめします。





1 吐水口と酸性水吐水口の 高低差を確認する

- 高低差は、10 cm以上50 cm未満で使用してください。(53ページ参照)

2 水栓を閉め、ブザーが「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴るまで 切換/解除 ブザー切 を押す(約3秒間)

- 表示部2が下記のように変わります。

※設定が2回目以降の場合、前回設定した内容を表示します。

3 ⊕または⊖を押し、高低差を設定する

- 左表に従って、設定値を入力してください。

高　低　差	設定値	⊕	⊖
10 cm以上 20 cm未満	10−20	一回押すごとに ↓	一回押すごとに ↑
20 cm以上 30 cm未満	20−30		
30 cm以上 40 cm未満	30−40		
40 cm以上 50 cm未満	40−50		

〔例〕高低差25 cmの場合

4 ブザーが「ピー」と鳴るまで 切換/解除 ブザー切 を押す(約3秒間)

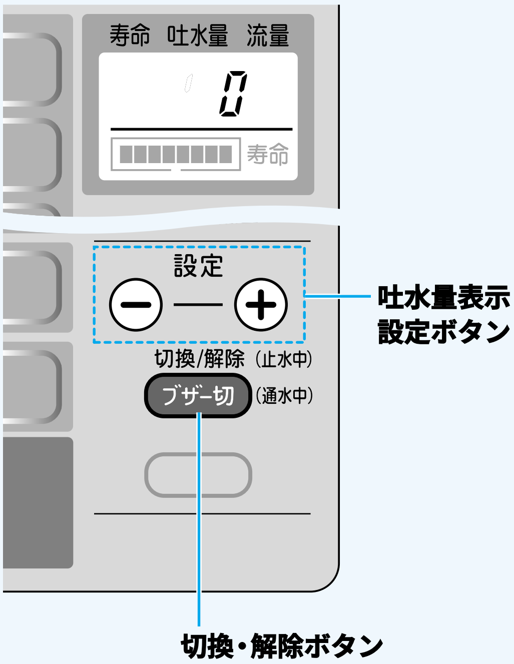
- ブザー切 を押したとき、まずブザーが「ピッ」と鳴り、「0」〔または「吐水量表示の補正」(25ページ参照)で設定した内容〕が表示されますが、「ピー」と鳴るまで、そのまま押しつづけてください。

お知らせ

- 一度設定した内容は、再度設定(変更)するまで記憶されます。

吐水量表示の補正

吐水量表示と実際の吐水量には多少の差がでます。**（使用状態や水圧などの影響によるものです。）**
差が大きい場合は、吐水量表示の補正をしてください。



水栓を閉め、ブザーが「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴るまで

1 切換/解除 ブザー切 **を押す**（約3秒間）

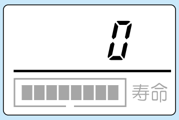
- 表示部2に「吐水口と酸性水吐水口の高低差の設定」内容を表示します。
（24ページ手順「2」参照）

もう一度

2 切換/解除 ブザー切 **を押す**

- 表示部2が下記のように変わります。

表示部2
（例）



※設定が2回目以降の場合、前回設定した内容を表示します。

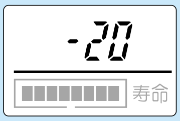
3 ＋ **または** － **を押し、補正値を設定する**

- 左表に従って、補正値を設定してください。

〔例〕吐水量表示が「0.5 L」で実際の吐水量が0.6リットルの場合
（吐水量が20 %程度多い）

表示部2

- 「−20」に設定する



吐水量表示と吐水量の差	補正値	＋	－
吐水量が**20**%程度多い	**−20**	↓ 一回押すごとに	↑ 一回押すごとに
吐水量が**10**%程度多い	**−10**		
差が**10**%以内	**0**※		
吐水量が**10**%程度少ない	**10**		
吐水量が**20**%程度少ない	**20**		

※ 補正なし

ブザーが「ピー」と鳴るまで

4 切換/解除 ブザー切 **を押す**（約3秒間）

- ブザー切 を押したとき、まずブザーが「ピッ」と鳴り、「吐水口と酸性水吐水口の高低差の設定」内容を表示しますが、「ピー」と鳴るまでそのまま押しつづけてください。

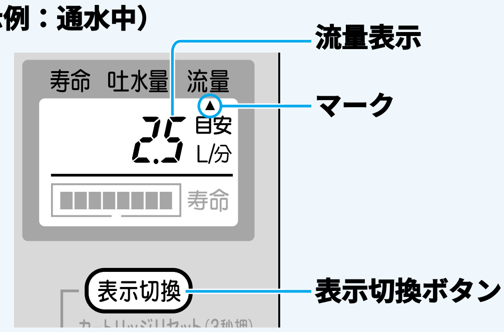
お知らせ

- 一度設定した内容は、再度設定（変更）するまで記憶されます。

水の流量を見る

通水中に、水の流量（吐水口、酸性水吐水口および排水口から1分間に出る水の合計量）を、表示部2に表示し、確認できます。（流量表示）

（表示例：通水中）

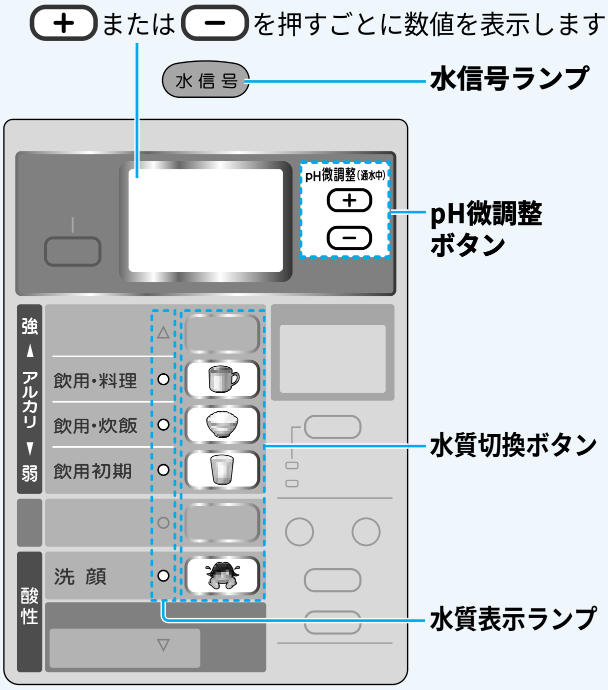


[表示切換] を押し、マーク（▲）を「流量」に合わせる

- 止水中は、「0.0 L/分」と表示します。

お好みのpH値に変更したいときには

「アルカリイオン水」「酸性水」の各水質切換ボタンに設定されているpH値を**通水中**に0.1単位で微調整することができます。（pH値の微調整は、止水中および洗浄運転中にはできません。）



調整したい
1 水質切換ボタンを押す

水栓を開き
2 本体に通水する

- 水信号ランプが点滅（約3秒間）後、点灯します。

調整したい数値になるまで
3 [＋] または [－] を押す

[＋]を押すごとに「0.1」ずつ**高く**なります。

[－]を押すごとに「0.1」ずつ**低く**なります。

- 水信号ランプが点滅（約3秒間）後、点灯します。

■ 水質切換ボタンの微調整範囲

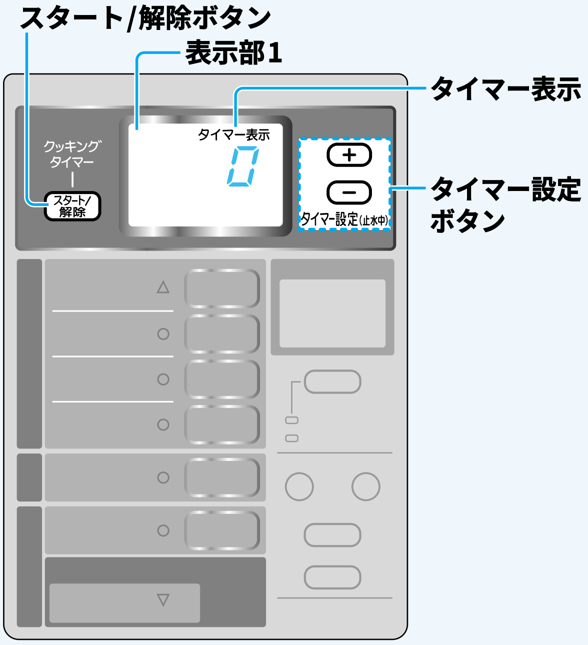
水質切換ボタン	pH 設定値	微調整の範囲	水質切換ボタン	pH 設定値	微調整の範囲
強 アルカリ	10.3	調整できません		8.5	8.3～8.7
	9.5	9.3～9.5		—	調整できません
	9.0	8.8～9.2		5.5	5.3～6.0

お知らせ

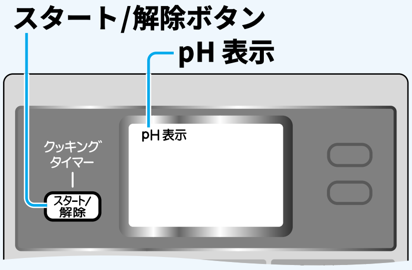
- 一度変更すると、次に変更するまで微調整したpH設定値は変わりません。
- 止水中に[＋]または[－]を押すと、クッキングタイマーの設定状態になります。（27ページ参照）

クッキングタイマーを使う

クッキングタイマーは、お料理時間を計るのに便利です。（通水中および洗浄運転中は設定できません。）

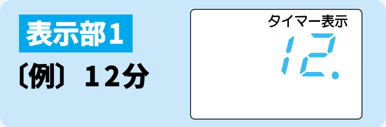


カウントが終了すると



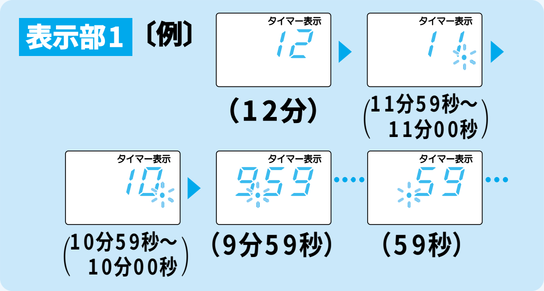
1 水栓を閉めた状態で、設定したい時間になるまで ＋ または － を押す

- 表示部1に「タイマー表示」が点灯し、「0」が表示されます。（初めて設定するとき）
- タイマーは1～99分まで1分単位で設定できます。
  ＋ を押すごとに1分ずつ大きくなります。
  － を押すごとに1分ずつ小さくなります。
  押し続けると、10分単位で変化し、押すのをやめると止まります。



2 スタート/解除 を押す

- タイマーが設定され、カウントが始まります。
- 11分以上に設定した場合は、スタート/解除 を押すと、すぐに1分減った表示になります。
  （10～99分は1分単位、残り10分をきると、1秒単位まで表示します。）



▼ **カウントが終了すると**

「0」が点滅し、「ピピピピ、ピピピピ、…」とブザーが鳴ります。（約30秒間）

3 スタート/解除 を押す（ブザーおよびタイマー解除）

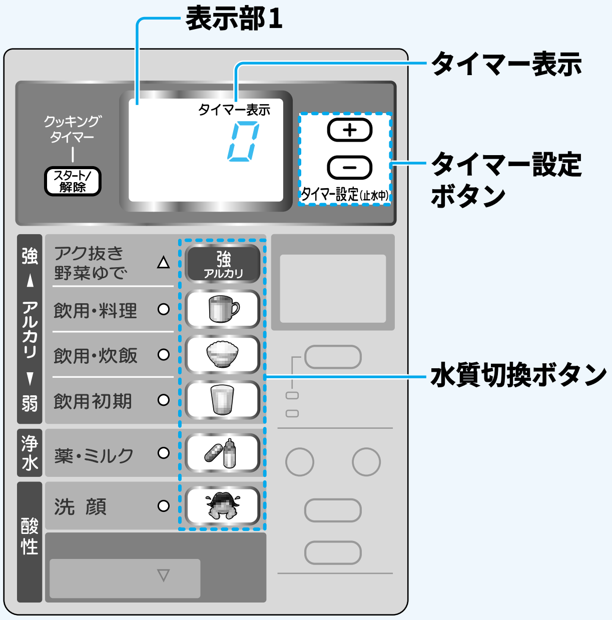
- 「ピー」と鳴った後、ブザーが止まり、「タイマー表示」は消灯します。
- 表示部1に「pH 表示」が点灯し、pH 値が表示されます。

お知らせ

- 一度設定した時間は次に変更するまで記憶されていますので、次回タイマーを使用する場合に ＋ または － を押すと、前回設定した時間が表示されます。
- 通水中はタイマーの設定はできません。止水して設定してください。
- タイマーカウント中でも通水できます。
- タイマーカウント中に停電または異常表示（U27は除く）が出た場合は、タイマーは解除されますので、再度設定してください。

（次ページにつづく）

クッキングタイマーを使う(つづき)



■ タイマー設定途中で、タイマー設定を中止したいときは…

次のいずれかの操作を行ってください。

- [スタート/解除]を2回押す
- 通水する
- 水質切換ボタンを押す

タイマー設定は解除され、pH 表示に戻ります。

お知らせ

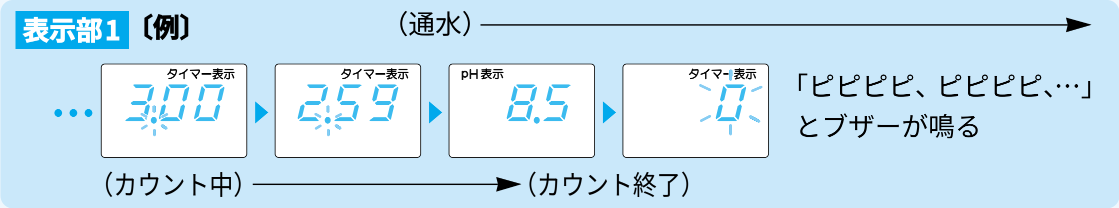
- 設定途中で30秒以上操作を中断すると、表示は消えますが設定は解除されていません。再度[+]または[−]を押すと、続けて設定の操作ができます。
  また、[スタート/解除]を押すと、カウントが始まります。

■ タイマーのカウント中は…

- タイマー設定値の変更はできません。
- [スタート/解除]を押すと、タイマーは解除され、pH 表示に戻ります。
- 水質切換ボタンを押すと、水質表示ランプは切り換わりますが、タイマーのカウントは続けられます。
- **通水すると、**通水中のみ表示部1に「pH 表示」が点灯し、pH 値が表示されますが、タイマーのカウントは続けられます。

通水中にカウントが終了すると…

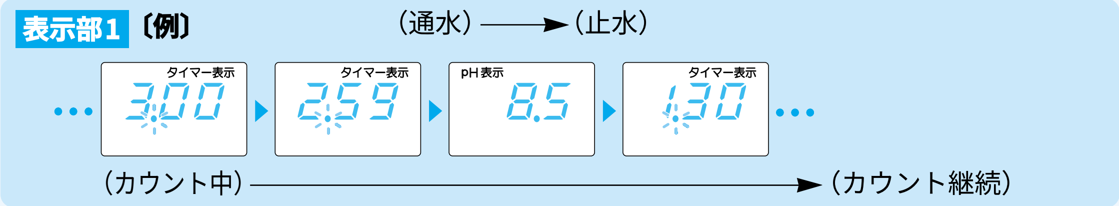
表示部1は「0」の点滅に変わり、「ピピピピ、ピピピピ、…」とブザーが鳴ります。(約30秒間)



[スタート/解除]を押すとブザーが止まる

水栓を閉めたときにカウント中の場合は…

pH 表示はカウント中のタイマー表示に戻ります。



■ カウント終了後(「0」が点滅し、「ピピピピ、ピピピピ、…」とブザーが鳴っている間) は…

- [+]または[−]を押しても操作できません。
- 次のいずれかの操作を行った場合は、ブザーが止まって、タイマーは解除され、pH 表示に戻ります。
  - ・[スタート/解除]を押す
  - ・通水する
  - ・30秒経過する

洗浄運転について

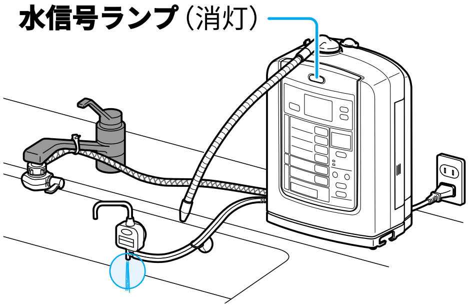
電解槽の生成機能を維持するため、次のような場合に本体内部を**自動洗浄**します。

酸性水を使用したあと ▶ **水栓を閉めると** ▶

アルカリイオン水または酸性水を10回使用ごとに ▶ **水栓を閉めると約10秒後に** ▶

アルカリイオン水または酸性水の総通水量が約10リットルごとに ▶ **水栓を閉めると約10秒後に** ▶

最大約50秒間洗浄運転を行います。

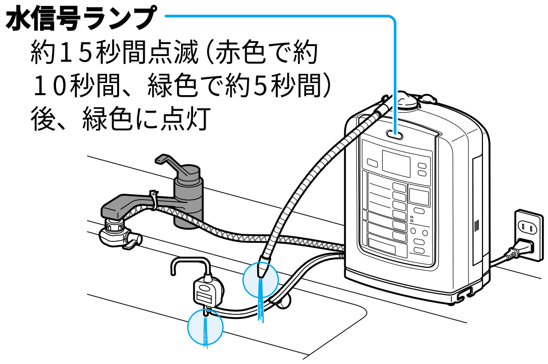


- **洗浄中は排水口より水が出ますが、使用しないでください。**
- 洗浄中は、通水しないでください。

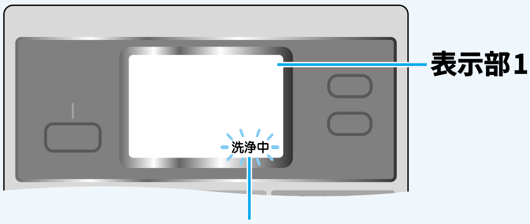
24時間以上使用しなかったとき ▶ アルカリイオン水または浄水を**通水すると、** ▶

約15秒間洗浄運転を行います。

「ピッピッ…」と約3秒間鳴る



- **このとき吐水口や排水口から出てくる水は使用しないでください。**
  「ピッ・ピッ」と2回鳴ってから使用してください。



洗浄運転中は、**「洗浄中」が点滅**します。

お知らせ

- 洗浄運転中は、操作ができません。
- 洗浄運転中に吐水口から水が「ポタ、ポタ」と落ちることがありますが、異常ではありません。
- 「洗浄中」の点滅が終わっても、排水口から水が出ることがあります。

停電・断水したときには

■ 停 電 時

- 使用中に停電したときは水栓を閉めてください。（通水すると「浄水」が出てきます。）
- 通電後は通常通りに使用できます。
  （通電後は停電前に設定された「アルカリ」に自動的に戻ります。）

■ 断 水 時

- 使用できません。
- 使用中に断水したときは水栓を閉めてください。
- 断水が解除されたときは、水スイッチの切換レバーを「原水」または「シャワー」にして、まず原水（水道水）を流し、配管内の空気や濁った水を流し出してください。その後は、通常通りに使用されても問題ありません。（空気や濁った水を本器に通水すると、カートリッジの寿命が大幅に短くなるため）

お手入れ

本体、水スイッチ、シャワー部、酸性水スタンド

柔らかい布に水を含ませ、かたく絞ってふいてください。シャワー部がよごれたときは、歯ブラシなどでよごれを取り除いてください。

カルシウム添加筒（石けんなどで手をよく洗ってから扱ってください。）

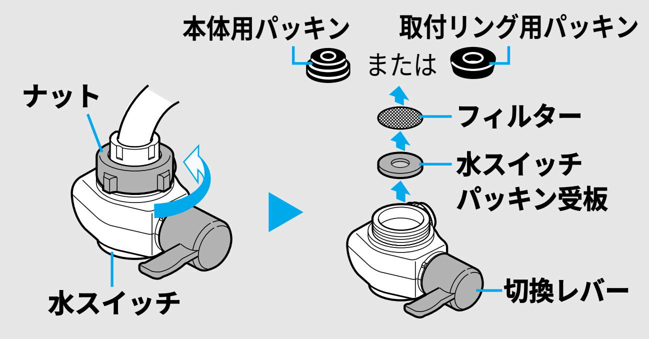
- カルシウムを添加するときに、添加筒からキャップをはずし、添加筒とキャップの内側を水で洗った後、水を振り切ってください。添加筒内やキャップにカルシウムが残っている場合は、きれいに取り除いてください。（14ページ参照）
- 添加筒の汚れや、においが気になる場合は、別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。定期的に洗浄されると、より効果的です。（45ページ参照）

本体通水路

- カートリッジを交換しても、においやいやな味がとれない場合は、別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。（45ページ参照）
- 水質の硬度が高い地域では、通水路にカルシウムが付着することがあります。1年に1回程度、別売品の「本体洗浄用カートリッジ」で洗浄してください。（45ページ参照）

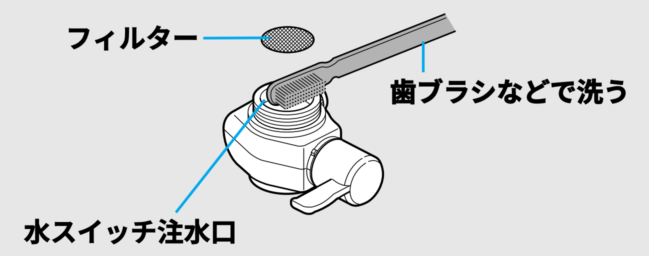
水スイッチ取付口（フィルター、水スイッチ注水口）

水スイッチ取付口のフィルターにごみなどが詰まると水量が少なくなります。
下記の手順でフィルターの清掃を行ってください。



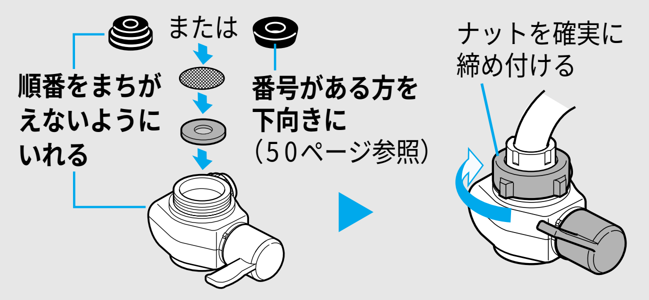
1 ナットをゆるめ、水スイッチをはずし、フィルターを取り出す

- 切換レバーは「浄水」の位置にしてください。



2 フィルターと水スイッチ注水口を洗う

- フィルターをなくさないようにしてください。



3 水スイッチを取り付ける

- フィルターを必ず取り付けてください。
- **取り付け後、「原水」または「シャワー」で約5秒間水を流してください。**

お願い

- **洗剤・クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使わないでください。**
（洗剤が通水に混じる原因、樹脂の割れ・変色・変形の原因）
- 金属製のブラシなどは使わないでください。（きずの原因）
- ナットを締め付けるときは、工具を使わないでください。（ナット破損の原因）

カートリッジを交換する

■ 交換表示について

- 通水量を積算し、表示部2にカートリッジ寿命を表示します。交換の目安にしてください。
- カートリッジは下記の3種類があり、カートリッジ寿命（交換目安となる総通水量）が異なります。
  P-77MJR・P-76MJRをご使用の場合は、カートリッジの種類を検知し、カートリッジ寿命を自動的に設定します。
  ※お買い上げ時は、P-77MJRが装着され、24 000リットルに設定されています。

品　番	カートリッジ寿命
P-77MJR	24 000リットル　（総トリハロメタン除去寿命は6 000リットル）
P-76MJR	12 000リットル
P-701MJR	6 000リットル　**（注）**

（注）P-701MJRをご使用の場合、カートリッジの種類を検知できないため、カートリッジ寿命が12 000リットルに設定されます。実際のカートリッジ寿命は6 000リットルですので、カートリッジ寿命表示が「6 000 L」になったら交換してください。
カートリッジ交換ランプおよび「U26」表示（32ページ参照）では、交換時期をお知らせできません。

- カートリッジ寿命は、標準的な水質・水圧による試験（家庭用浄水器試験方法：JIS S 3201）での数値であり、一般の水道水では水質（濁り、鉄サビなど）・水圧により、目詰まりの時期に大幅な差が出ることがあります。

〔カートリッジ寿命表示を見るときは〕

表示切換 を押し、マーク（▲）を「寿命」に合わせる

※ 出荷時は、カートリッジ寿命を表示する「寿命」に設定されています。

マーク

カートリッジ寿命表示

- カートリッジの交換目安となる総通水量までの残量を、1リットル単位で表示します。
- カートリッジ交換ランプが点灯すると**「U25」**または**「U26」**を表示します。
  （32、38ページ参照）

インジケーター

- カートリッジ寿命が減るにしたがって、「■」が左から消えていきます。

トリハロ除去ランプ（黄緑色から黄色に変わる）

- 総トリハロメタンの除去能力をお知らせするランプです。

黄　緑　色	▶	黄　　色
● 総トリハロメタンが**除去できます。**		● 総トリハロメタンの**除去能力が低下**しています。

カートリッジ交換ランプ（赤色）

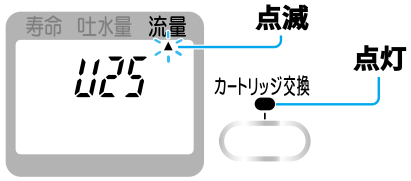
- カートリッジの目詰まりなどで流量が低下した場合や、カートリッジ寿命表示が「150 L」以下になった場合に点滅します。

点 滅：（通水中のみ）	▶	**点 灯：**（常 時）
● 交換時期が近づいています。		● 交換してください。 ※ 点灯中は、アルカリイオン水、酸性水は生成できません。

カートリッジを交換する(つづき)

■ 交換時期について

カートリッジ交換ランプが点灯したら交換をしてください。

表　　示	処　　　置
	**流量低下によるカートリッジの寿命です。** 38ページ「U25」の内容を確認の上、カートリッジの目詰まりであれば、カートリッジを交換してください。
	交換の目安となる総通水量になりました。 カートリッジを交換してください。 P−77MJRをご使用の場合：24 000リットル P−76MJRをご使用の場合：12 000リットル

■ カートリッジ交換ランプが点灯しなくても、次のような場合は交換をしてください。

- **P-701MJRをご使用の場合は、カートリッジ寿命表示が「6 000 L」になったら交換してください。**
- **においやいやな味がするとき**（カートリッジの除去能力の低下）
- **総トリハロメタン除去を目的とする場合は、トリハロ除去ランプが黄色になったら交換してください。**

■ ろ材（カートリッジ）交換の目安となる年月

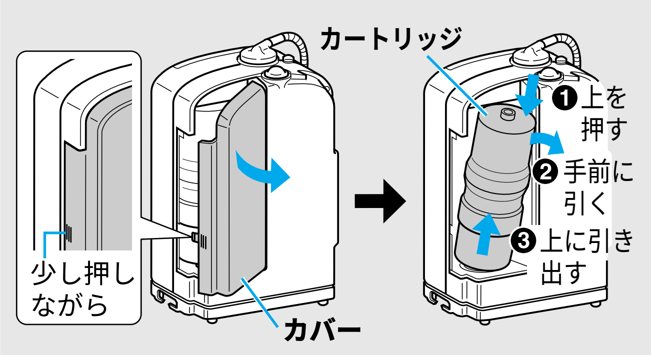
品　番	**交換目安**（1日30リットル使用時）	除去できる物質
P−77MJR	約 6 ヵ 月	総トリハロメタン・遊離残留塩素・濁り
	約 2 年	遊離残留塩素・濁り
P−76MJR	約 1 年	総トリハロメタン・遊離残留塩素 ・濁り
P−701MJR	約 6 ヵ 月	総トリハロメタン・遊離残留塩素 ・濁り・溶解性鉛

お知らせ

- **交換時期は、次の場合、大幅に短くなることがあります。**
  - ・使用水量が多いとき　・配管が古くて、赤水（鉄サビなど）が出る場合
  - ・短期間に多くの水中の微粒子（濁りや、目に見えない目詰まりしやすい成分）が除去されたとき
  - ・水圧が低いところ（ビルの最上階など）でご使用の場合

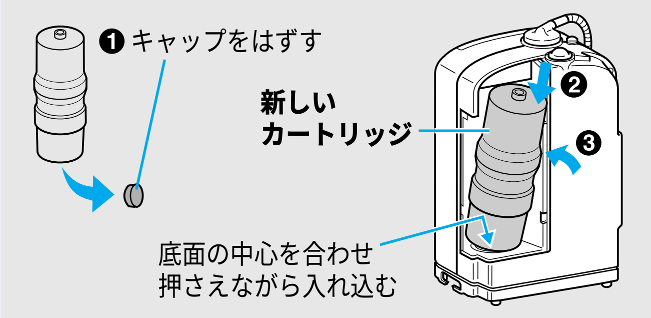
■ 交換のしかた

- **電源プラグは抜かないでください。**
〔電源プラグを抜くと、表示切換（カートリッジリセット）ボタンを押してもリセットされません。〕
- **水栓を閉めてから交換してください。カートリッジをはずした状態で通水すると、水があふれ出します。**

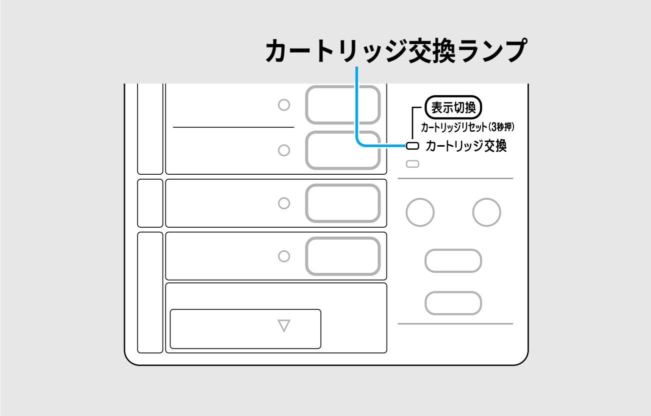


1 カバーを取りはずし、カートリッジを取りはずす

- カートリッジから水が出ますので、注意してください。
この水が本体の底面から出てくることがあります。（水漏れではありません。）



2 新しいカートリッジを 取り付ける

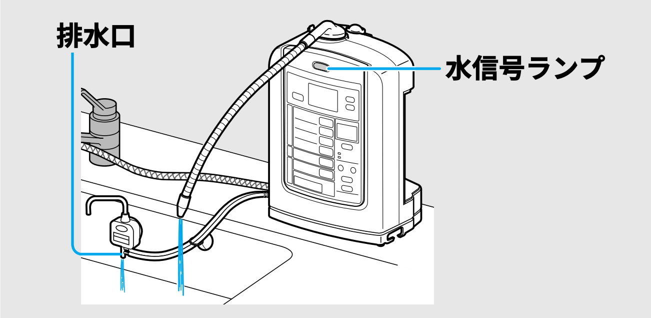


3 「ピー」と鳴り、カートリッジ交換ランプが消えるまで 表示切換 を押す(約3秒間)

カートリッジリセット(3秒押)

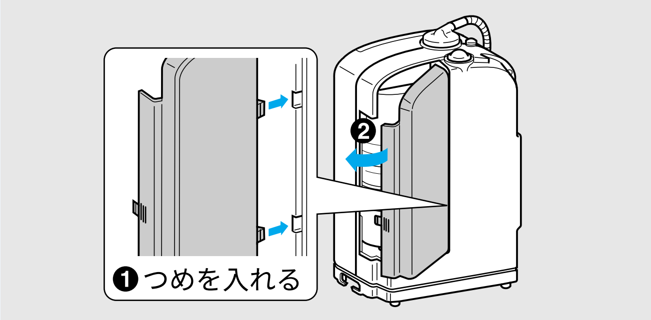
〔水栓は閉めたまま、押してください。〕

- 「U25」を表示していたときは、はじめに「ピッ」と鳴り、表示部2がカートリッジ寿命表示に変わりますが、そのまま押し続けてください。
- カートリッジ交換ランプが消えているか確認してください。



4 水栓を開き、約3～4分間 本体に通水する

- 通水して約23秒間は水信号ランプが点滅しその後点灯します。
- 通水中、カートリッジ取付部から水漏れがないことと、排水口から水が出ていることを確認してください。



5 カバーを取り付ける

お 願 い

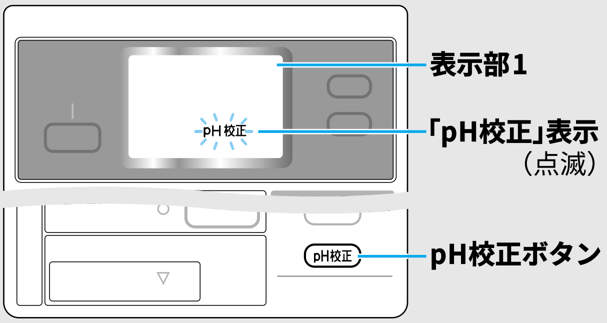
- **カートリッジ交換ランプが点滅または点灯する前にカートリッジを交換する場合も、**上記手順「3」で 表示切換 (カートリッジリセット)を「ピー」と鳴るまで押し続けてください。(約3秒間)
(カートリッジ寿命を正しく表示するため)
- **使用済のカートリッジは、地域で定められた条例に従って廃棄してください。**

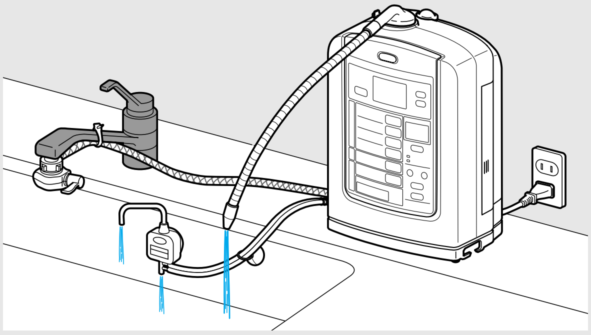
お知らせ

- カートリッジ交換後、アルカリイオン水をコップに注ぐと白い泡がつくことがありますが、異常ではありません。(37ページ参照)
- カートリッジが新しいとき(約1週間)は、イオン水のpH値がやや高くなることがありますが、異常ではありません。

pH値の測定機能を調節する（pH校正）

pH校正は、pHセンサーの機能を維持し、正確なpH値を測るために必要です。
工場出荷時にpH校正を行っていますので、設置直後はpH校正の必要はありません。
「pH校正」表示が点滅したらpH校正をしてください。（「pH校正」表示は約1年6ヵ月に1回点滅します。）





1

水栓を閉め、「ピッ」と鳴るまで、
pH校正 を押す（約1秒間）

- 「pH校正手順」が点灯し、「1」が点滅します。

表示部1　〔点 滅〕

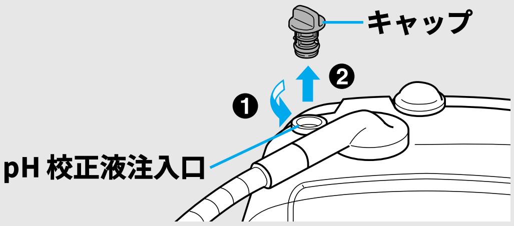
- 点滅している数字は、現在行っている手順の番号です。

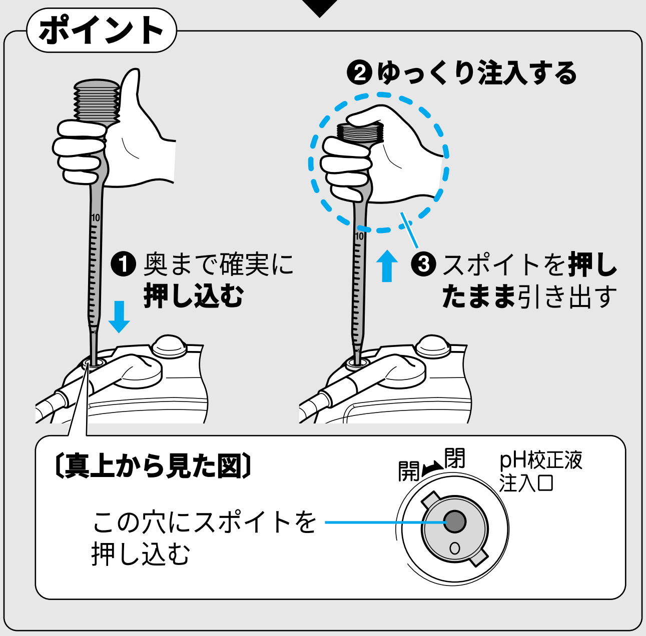
▼

2分間以上通水し、止水する

- 止水後、約30秒で「2」の点滅に変わります。

表示部1

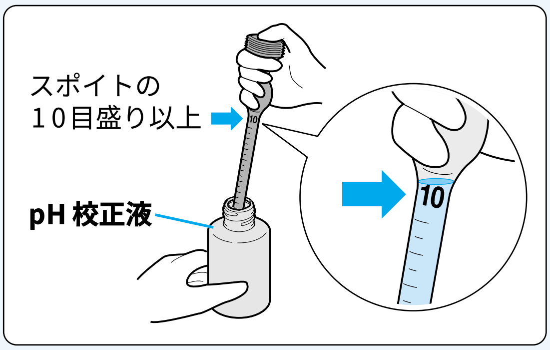




2

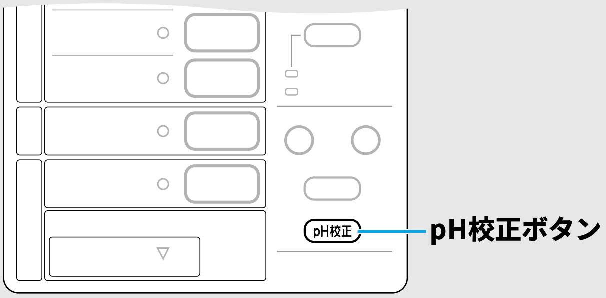
「2」が点滅をはじめたら、
pH校正液注入口のキャップをはずし、
pH校正液を注入する

- 本器の表示に従って、pH校正液注入口をまちがえないように入れてください。
- pH校正液は**10目盛り以上**入れてください。

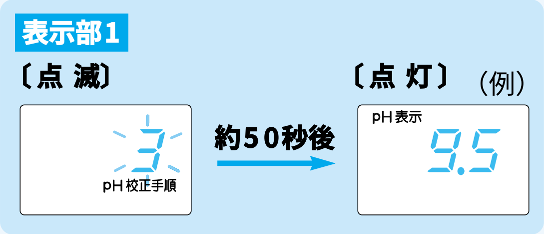


お願い

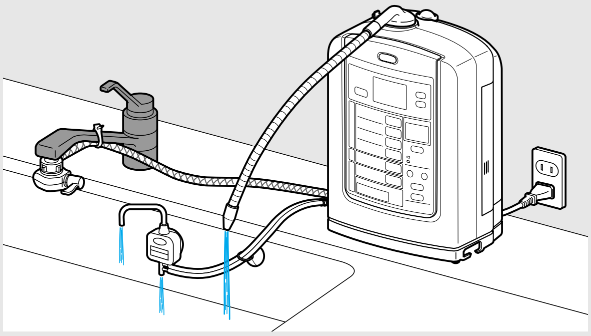
- スポイトは注入口の奥まで少し力を入れて**押し込んで**ください。
- **ゆっくり注入**してください。
  （空気や泡が入ると、校正ができないことがあります。）
- スポイトは**押したまま**引き出してください。



3 注入後、「ピッ」と鳴るまで pH校正 を押す



- 表示部1に「3」が点滅をはじめると、自動的に調節を行い、排水口から水が出てきます。(約50秒間)
  その後、表示部1にpH 設定値が表示されます。
- **表示部2に「U24」が表示されたときは、下記の お 願 い を参照してください。**



4 pH 設定値が表示されたら、キャップを付け、水栓を開けて、約1分間通水する

お 願 い

- **表示部2に「U24」が表示されたときは、以下の方法で再度 pH 校正を行ってください。**
  ① キャップを取り付ける
  ② 手順「1」から再度 pH 校正をする
  ※手順「1」で**必ず2分間以上通水**してください。
  ※手順「2」のお願い**「スポイトを奥まで確実に押し込む・ゆっくり注入・押したまま引き出す」**に注意してください。
- 通水中に pH 校正液注入口のキャップを開けないでください。(生成 pH 値がずれる原因)
- pH 校正液は指定のもの以外は入れないでください。(故障の原因)
- pH 校正液に関する**「安全上のご注意」**は6ページを参照してください。
- 使用したスポイトは、水で内部をすすいで保管してください。
- pH 校正液を捨てるときは、水で薄めて下水に流してください。

お知らせ

- **pH 校正液は排水口から排水されますので、吐水には混入しません。**
- **pH 校正液の成分は次の通りです。**
  ・中性りん酸塩 pH 標準液
  ・防腐剤:Sodium Azide(アジ化ナトリウム)　0.1%未満
- pH 校正表示が点滅したまま使用すると、正確なpH 値が得られない場合があります。

Q & A（ご質問にお答えします。）

Q（ご質問）	A（ご質問のお答え）
使用するにあたって	
グリセロリン酸カルシウム製剤をなぜ添加するのですか？	**電気分解の促進剤として添加しています。** 指定のpH値が得られない場合などに効果を現すもので、カルシウムの摂取を目的としたものではありません。
グリセロリン酸カルシウム製剤とはどういうものですか？	**グリセロリン酸カルシウム製剤は、食品添加物として認められているもので、飲んでも問題はありません。**
地下水は使用できないのですか？	**使用できない場合があります。** 地域・水質によっては、指定のpH値が得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置前に酸度測定試薬で測定してください。詳しくは販売店にご相談ください。
長期間（目安：約10日間以上）使用しないときは、どうするのですか？	●**カルシウム添加筒に残っているカルシウムを取り除いてください。** ●**カートリッジは、本体から取りはずしてビニール袋に入れ、空気を抜いて口を閉じてから冷蔵庫に保管してください。** ●**電源プラグを抜いてください。** ●**再使用するときは、カートリッジを取り付け、約3分間通水後使用してください。**
カルシウムの補充周期は？	**水質・水温・使用条件などによって異なりますが、目安として約7日間**（1日30リットル使用した場合）**です。** 使用水量が少なく、カルシウムが残っている場合は、1ヵ月以内に取り除き、よく洗ってから新しいカルシウムを入れてください。
使用しないときも電源は入れておくのですか？	**使用しないときでも電源は入れたままにしてください。** 洗浄運転を機能させるためです。
何℃のお湯まで通していいのですか？	**本体は35 ℃未満、水スイッチは80 ℃未満です。**（14ページ参照）
アルカリ強の水について	
「アルカリ強」では、水信号ランプが赤色に点灯しますが、アク抜きや野菜ゆでに使っても問題ないのですか？	**アク抜きや野菜ゆでなどにはお使いいただいて問題ありません。** 水信号ランプが赤色に点灯するのは、まちがって飲用しないようお知らせするためです。

Q（ご質問） → A（ご質問のお答え）

アルカリイオン水について

Q（ご質問）	A（ご質問のお答え）
コップに注ぐと白い泡がつきました。これは何ですか？	**本体内の空気が混入したものか、または電気分解のときに発生した泡です。設置直後やカートリッジ交換後に多く発生することがあります。** **そのままお使いいただいて問題ありません。**
アルカリイオン水が光って見えますが何ですか？ （浄水の場合も、同じ現象が現われることがあります。）	**水に溶けている成分（主としてミネラル分）が析出したものです。** 飲んでも問題はありませんが、気になる場合はpH値（イオン濃度）を低くしてお使いください。また、カートリッジの機能が低下した場合も同様の現象が現われますので、その場合は新しいカートリッジと交換してください。
やかんやジャーポットなどの容器に白い粉がつきますが何ですか？	**原水や浄水、アルカリイオン水、酸性水のカルシウムが出てきたものです。** 飲んでも問題ありませんが、気になる場合は容器を洗ってください。白い粉がとれない場合は、薬店でクエン酸をお求めいただき、1リットルの水に約50 gの割合で溶かし、2～3日つけた後洗い流してください。
アルカリイオン水で作った氷の溶けた水に白いものが浮きますが何ですか？	**水に含まれているミネラル分です。** 水を凍らせたときに、ミネラル分が氷の表面に固まったもので、飲んでも問題ありません。
アルカリイオン水で炊飯すると、ごはんがべたつきますが、どうしたらいいですか？	**水加減や、お米、炊飯器の種類によっては、べたつくことがあります。pH値**（イオン濃度）**を低くするか、「浄水」をお使いください。**
乳幼児にはどのような水を飲ませたらいいのですか？	**乳幼児には「浄水」の飲用をおすすめします。**

酸性水について

アルカリイオン水使用中に、酸性水吐水口から出る酸性水のpH値は、どの程度ですか？

水質		酸性水吐水口から出る酸性水のpH値	用途
アルカリ強		2.8～3.5 （「pH 3」の水質表示ランプが点灯したときは、pH 3程度）	●茶しぶとり ●魚料理後のにおいとり
アルカリ	飲用・料理	3.0～4.5	ためて食器洗いなどに
	飲用・炊飯	4.0～5.5	
	飲用初期	5.0～6.5	

※ pH値は、水質・流量・pH微調整レベルにより異なります。

こんなときには

このような表示が出たときには

表示部2に下記のような表示が出たときは、各々の処置をしてください。ただし、**H31〜H38**の表示が出たときは、ご自分で分解修理は絶対しないで、お買い上げの販売店に連絡してください。

異常表示内容	原因と対応いただく内容	参照ページ
U21	●水質、環境によっては機器の保護のため運転を中止します。 ➡水栓を閉め、約3分間待って再度使用してください。	—
U22 または U23	●水質、環境によっては機器の保護のため運転を中止します。 ➡水栓を閉めて使用を中止し、約30分間お待ちください。 （水質、使用環境によって30分以上かかることがあります。）	—
U24	●pH 校正が正常に行われていません。 ➡以下の方法で再度 pH 校正を行ってください。 ❶ キャップを取り付ける ❷ 手順「1」から再度 pH 校正をする ※ 手順「1」で**必ず2分間以上通水**してください。 ※ 手順「2」のお願い**「スポイトを奥まで確実に押し込む・ゆっくり注入・押したまま引き出す」**に注意してください。	34 35
U25	**流量が1.2 L／分を超えません。** **（通水すると、表示部2が流量表示に変わります。）** **※ 電源プラグを一度抜いて、再度差し込んでください。** ●水栓を絞りすぎていませんか？➡水栓を開けてください。 ●水圧が低すぎませんか？➡水栓を全開にしてください。 ●給水ホースが折れていませんか？ ➡ホースをまっすぐにしてください。	—
	※ 以上の処置を行っても、再度「U25」が表示される（流量が1.2 L／分を超えない）場合は ●カートリッジの寿命です。 ➡カートリッジを交換してください。	32 33
U26	**交換の目安となる総通水量（カートリッジ寿命）を超えました。** ●カートリッジの寿命です。 ➡カートリッジを交換してください。	32 33
U27	●連続使用可能時間を超えました。機器保護のため電気分解を中止します。 ➡水栓を閉め、約3分間待って、再度使用してください。	12

異常表示内容	原因と対応いただく内容	参照ページ
U28	●電解槽の寿命予告です。（電解時間：累積約８４７時間） ➡販売店にご相談ください。 電解槽寿命は約８５０時間です。止水して、電源プラグを一度抜き、再度差し込むと、寿命までの残り約3時間（1日10分使用して、約3週間）使用できます。	—
U29	〔別売品の電磁弁アダプターを設置されている場合のみ表示します。〕 ●断水していませんか？ ➡断水の復帰を待ってください。 ●水栓を絞りすぎていませんか？ ➡水栓を開けてください。 ●水圧が低すぎませんか？ ➡水栓を全開にしてください。 **上記を確認後、再度水質切換ボタンを押して通水してください。**	—
H31	●電解槽の寿命です。 電解時間：累積約８５０時間（イオン水生成時間・洗浄時間のみ） ➡販売店に電解槽の交換を依頼してください。	—
H32~H36	●機器の故障です。 ➡電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。	—
H37	**※ 電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。** ●酸性水・排水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡ホースの折れ曲がり、つぶれをなおしてください。 **※ 以上の処置を行っても、再度「H37」が表示される場合は** ●pHセンサーの故障です。 ➡電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。	—
H38	●機器の故障です。 ➡電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。	—

お知らせ

●表示は、下記の種類で区別しています。

U00 ········お客様で対応できます。

H00 ········販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは、この表示をお知らせください。

故障かな？と思ったときには

万一故障かなと思われることがありましたら、修理依頼される前に次のことを調べてください。
なお、機器の故障のときは、ご自分で分解修理は絶対しないで、お買い上げの販売店に連絡してください。
※ 誤操作などにより異常が発生した場合は、一度電源プラグを抜き、再度差し込んでください。
　正常に復帰します。

■ こんなランプ表示のときには

症　　状		原因と対応いただく内容	参照ページ
何も表示（点灯）しない		●電源プラグが抜けていませんか？ ➡電源プラグを差し込んでください。	53
		●機器の故障です。 ➡電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。	—
水信号ランプ	点灯しない、または使用中に消灯する	●カートリッジ交換直後は、通水すると水信号ランプが約23秒間点滅後、点灯に変わります。 ➡約3～4分間通水してください。 （カートリッジ内の空気を抜くため）	33
		●24時間以上使用しなかったのでは？ （「洗浄中」が点滅し、ブザーが鳴ります。） ➡約15秒間通水してください。	29
		●流量が不足していませんか？（約1.2 L/分 以上必要） ➡水栓を開け、流量を多くしてください。	—
		●カートリッジ交換ランプが点灯していませんか？ ➡カートリッジを交換してください。	31 ～ 33
水質表示ランプ	「アルカリ強」「酸性」「浄水」使用後、ランプが「アルカリ」に変わる	●「アルカリ強」「酸性」「浄水」使用後、水栓を閉めると、自動的に「アルカリ」に切り換わるようになっています。 ➡故障ではありません。	17 18 20 21
	「浄水」使用後、ランプが「アルカリ」に戻らない	●「アルカリ」に戻らないように設定されているのでは？ ➡本器に通水していないときに、「アルカリ（飲用・料理）」ボタンを「ピー」と鳴るまで押してください。（約3秒間）	21
	「アルカリ強」「酸性」「浄水」使用中、水栓を絞ると、ランプが「アルカリ」に変わる	●水栓を絞り過ぎたり、水圧の変化で流量が低下して、機器が未通水と検知したためです。（水信号ランプ消灯） ➡再度、「アルカリ強」「酸性」「浄水」を押し、水栓を開いて流量を調節してください。	17 19 21

	症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
カートリッジ交換ランプ	カートリッジを交換しても、ランプが消えない	●電源プラグを抜いたまま、表示切換（カートリッジリセット）ボタンを押したのでは？ ➡電源プラグを差し込み、ブザーが「ピー」と鳴り、カートリッジ交換ランプが消えるまで、表示切換ボタンを押してください。（約3秒間） ●表示切換（カートリッジリセット）ボタンを押し忘れていませんか？ ➡水栓を閉めて、ブザーが「ピー」と鳴り、カートリッジ交換ランプが消えるまで、表示切換ボタンを押してください。（約3秒間）	32 33
	ろ材（カートリッジ）交換の目安となる年月をすぎても、カートリッジ交換ランプが点灯しない	●使用量が少なく、交換の目安となる総通水量（カートリッジ寿命）に達していないのでは？ ➡故障ではありません。 カートリッジ寿命表示を確認してください。	31
	カートリッジ寿命表示が「150 L」以下になっていないのに、カートリッジ交換ランプが点滅する	**※電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。** ●水栓をしぼりすぎていませんか？ ➡水栓を開けてください。 ●水圧が低すぎませんか？ ➡水栓を全開にしてください。	—
		●給水ホースが折れていませんか？ ➡給水ホースをまっすぐにしてください。	52 53
		●カートリッジの目詰まりなどで流量が低下しています。 ➡故障ではありません。 カートリッジの交換時期が近づいています。	31 32

■ 故障かな？

	症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
表示部	液晶表示が突然消えた	●節電のため、使用していないときには、自動的に表示が消えるようになっています。 ➡故障ではありません。	13
クッキングタイマー	クッキングタイマーの設定ができない	●「洗浄中」が点滅していませんか？ ➡洗浄運転が終わるまで待ってください。 ●通水中ではありませんか？ ➡止水して設定してください。	27

故障かな？と思ったときには(つづき)

■ 故障かな？(つづき)

	症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
水スイッチ	熱水逃がし口から熱水が噴き出る	●カートリッジ保護のため熱水ガードがはたらいています。(作動温度：約60 ℃以上) ➡すぐに熱水を止め、冷却のために水を約0.5リットル(約10秒間)通水してください。	14
排水口	「アルカリ」「アルカリ強」「酸性」「浄水」使用後、水が出る	●本体内部の水を排水しています。 ➡故障ではありません。	16 18 20
排水口	使用していないのに排水口から水が出る	●機能維持のため、定期的に自動排水を行います。そのとき、排水口から水が出ます。➡故障ではありません。	—
排水口	「アルカリ」「アルカリ強」「酸性」使用中、水が出ない	●酸性水・排水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡まっすぐにしてください。	52 53
		●表示部1に「流量調節」表示が点灯していませんか？ ➡「流量調節」表示が消えるまで水栓をゆっくりと絞ってください。	17 19
酸性水吐水口	「アルカリ」または「アルカリ強」使用中、水が出ない	●酸性水・排水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡まっすぐにしてください。	52 53
		●表示部1に「流量調節」表示が点灯していませんか？ ➡「流量調節」表示が消えるまで水栓をゆっくりと絞ってください。	17
酸性水吐水口	「酸性」使用中、水が出る	●酸性水・排水ホースは正しく接続されていますか？ ➡酸性水スタンドへの接続を確認してください。	52 53
その他	水栓を閉めても、吐水口から水が「ポタ、ポタ」と落ちる	●吐出管内部の残水が出ています。➡故障ではありません。	—
		●洗浄運転中です。➡故障ではありません。	29
その他	「酸性」を使用してもブザーが鳴らない	●ブザーが鳴らないように設定されているのでは？ ➡本器に通水していないときに、酸性ボタンを「ピー」と鳴るまで押してください。(約3秒間)	19
その他	においやいやな味、にごりがとれない	●カートリッジの除去能力が低下しています。 ➡カートリッジを交換してください。	31 〜 33
		●カートリッジ交換後、2〜3ヵ月以内に、においがした場合は、通水路に汚れが付着している可能性があります。 ➡別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。	45
その他	カルシウム添加筒が汚れたり、いやなにおいがする	➡別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。	45

症　状		原因と対応いただく内容	参照ページ
その他	吐水量表示と実際の吐水量に、大きな差がある	●酸性水・排水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡まっすぐにしてください。 ●吐水口と酸性水吐水口の高低差は、10 cm以上50 cm未満になっていますか？ ➡高低差を、10 cm以上50 cm未満にしてください。	52 53
		●吐水口と酸性水吐水口の高低差は、設定されていますか？ ➡高低差の設定をしてください。	24
		※以上の処置を行っても、吐水量表示と実際の吐水量に大きな差がある場合は、「吐水量表示の補正」を行ってください。	25
	吐水量が少ない、または出ない	●水圧が低すぎませんか？ ➡水栓を全開にしてください。 ●水栓を絞り過ぎていませんか？ ➡水栓を開けてください。	—
		●水スイッチのフィルターが目詰まりしていませんか？ ➡フィルターを清掃してください。	30
		●カートリッジ交換ランプが点灯していませんか？ ➡カートリッジを交換してください。 ●カートリッジを確実に取り付けていますか？ ➡確実に取り付けてください。	31 ～ 33
		●断水していませんか？ ➡水が出るまでお待ちください。	29
		●給水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡まっすぐにしてください。	52 53
	本体に通水すると、水が温かい	●通水初期は、止水中に室温や本体内の熱により温められた水が出ることがあります。 ➡故障ではありません。水を流してから使用してください。	—
	本体の下から水が出る	●温湿度条件によっては、本体内部に結露水が発生することがあります。 ➡故障ではありません。別売品の「結露水排水ホース」を取り付けてください。（本体底面イラスト参照）	44 52
	本体から「カチッ」と音がする	●機能維持のため、定期的に自動排水を行います。自動排水で水路を切り換えるときの音です。 ➡故障ではありません。	—
	ドライヤーを使用すると、整水器本体から音がする	●ドライヤーの種類によっては、音がすることがあります。 ➡故障ではありません。	—

別売品

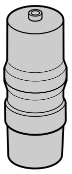
お買い上げの販売店またはナショナル・パナソニックの製品を扱っている販売店で購入してください。
使いかた、取り付けかたについては、それぞれに付属の説明書をよくお読みください。

（価格は2002年5月現在のものです。）

消　耗　品

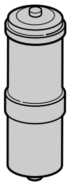
- **交換用ろ材（カートリッジ）〔白色〕**
  （カートリッジ寿命：約2年
  総トリハロメタン除去寿命：約6ヵ月）

  品　　番：P-77MJR
  希望小売価格：11,000円（税別）



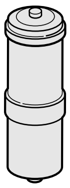
- **交換用ろ材（カートリッジ）〔青色〕**
  （カートリッジ寿命：約1年
  総トリハロメタン除去寿命：約1年）

  品　　番：P-76MJR
  希望小売価格：9,800円（税別）

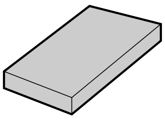


- **交換用ろ材（カートリッジ）〔白色〕**
  （カートリッジ寿命：約6ヵ月
  総トリハロメタン除去寿命：約6ヵ月
  溶解性鉛除去寿命：約6ヵ月）

  品　　番：P-701MJR
  希望小売価格：11,000円（税別）



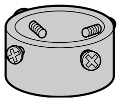
- **グリセロリン酸カルシウム製剤**
  1　　袋：6 g入　12本
  品　　番：P-A5101
  希望小売価格：3,800円（税別）
  ※ 電気分解を促進するために使用します。カルシウムの摂取を目的としたものではありません。



水栓が大型のとき

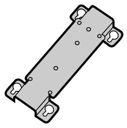
- 水栓先端径が24 mm～32 mmの水栓に

大型水栓用金具（内径32.5 mm）
品　　番：P-06JR
希望小売価格：1,100円（税別）



壁にかけて使うとき

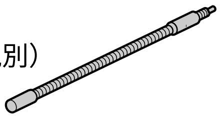
壁掛けセット
品　　番：P-A3303
希望小売価格：1,800円（税別）



- 取り付けは、販売店にご依頼ください。
- カートリッジ交換時は、本体を壁から取りはずしてください。

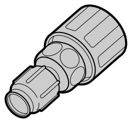
吐出管を延長するとき

延長吐出管（長さ：約30 cm）
品　　番：P-A5102
希望小売価格：4,000円（税別）



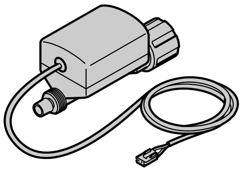
分岐水栓を使用するとき

- **分岐水栓アダプター**
  品　　番：P-A3604
  希望小売価格：2,400円（税別）



- 48ページと、付属の「分岐水栓による設置について」を参照してください。
- 使用される場合は、販売店にご相談ください。

- **電磁弁アダプター**
  品　　番：P-A7804
  希望小売価格：12,800円（税別）



- 使用される場合は、販売店にご相談ください。

※ 定量止水機能（23ページ参照）を使う場合に設置します。

※ 下記部品はサービスルート扱いです。

- **pH 校正液**（50 mL）
  （消耗品）　品　　番：PJW-T8637B
  希望小売価格：1,000円（税別）

- **スポイト**
  品　　番：PJW-T8620D
  希望小売価格：　200円（税別）

- **給水ホース**（長さ2.5 m）
  品　　番：PDB-C8633A
  希望小売価格：1,300円（税別）

- **酸性水・排水ホース**（分離型：長さ2.5 m）
  品　　番：PDB-C8638B
  希望小売価格：2,400円（税別）
  ※酸性水ホースと排水ホースに分かれています。
  ※ホースの直径は大きくなります。

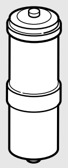
- **酸性水・排水ホース**（分離型：長さ75 cm）
  品　　番：PDB-C8638A
  希望小売価格：1,400円（税別）

- **結露水排水ホース**（長さ90 cm）
  品　　番：PDB-C8616K
  希望小売価格：1,000円（税別）

※ 下記部品はサービスルート扱いです。

● 本体洗浄用カートリッジ（カルシウム除去専用）

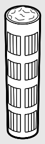
（消耗品）



品　番：PRA-B8620S
希望小売価格：2,000円（税別）

● 通水路洗浄剤

（消耗品）

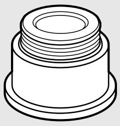


品　番：PVL-P8634S
希望小売価格：1,200円（税別）
※ 添加筒や通水路の汚れや、においが気になるとき、お使いください。

● 泡沫水栓用つぎて（内ねじ用）

（KVK製水栓用 W23、山20）	品　番：PRV-D8623K
（ミズタニ・MYM製水栓用 W24、山20）	品　番：PRV-D8623M
（GROHE・カクダイ・MOEN製水栓用 M24、ピッチ1mm）	品　番：PRV-D8623G

希望小売価格：各1,000円（税別）



● 水栓メーカーをご確認のうえ、販売店にご相談ください。

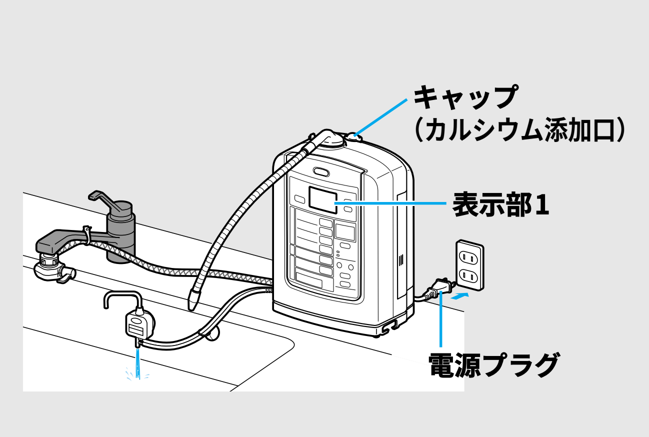
仕　様

定格		交流100 V　2.6 A　50 ― 60 Hz
消費電力		約230 W（待機時：約0.7 W）
本体	寸法	幅198 mm×奥行115 mm×高さ302 mm
	質量	約4.5 kg（満水時：約5.0 kg）
本体使用水温		35 ℃未満（水スイッチは80 ℃未満）
本体使用可能水圧（動水圧）		70 kPa～350 kPa
使用可能配水管圧力（静水圧）		70 kPa～750 kPa
電解	電解方式	連続電解方式
	吐水量（生成水流量）	2.1 L/min［水圧100 kPaのとき］ 3.0 L/min［水圧200 kPaのとき］
	電解能力切換	アルカリ：4段階　酸性：2段階
	連続使用可能時間	常温時約1時間〔アルカリ（飲用・料理）・アルカリ強・酸性時：約15分間〕**（注2）**
	電解槽寿命	累積約850時間（イオン水生成時間・洗浄時間のみ）
	電解洗浄	オートクリーニング方式（洗浄時間約35秒、排水時間約15秒）
浄水吐水量		2.8 L/min［水圧100 kPaのとき］
ろ過流量		2.8 L/min［水圧100 kPaのとき］
浄水能力（注1）	遊離残留塩素	P-77MJR使用時：24 000 L　P-76MJR使用時：12 000 L　**（注3）**
	濁り	P-77MJR使用時：24 000 L　P-76MJR使用時：12 000 L　**（注4）**
	総トリハロメタン	P-77MJR使用時：　6 000 L　P-76MJR使用時：12 000 L　**（注3）**
ろ材（カートリッジ）の取換（交換）時期の目安		P-77MJR使用時：約2年（総トリハロメタン除去寿命　約6ヵ月） P-76MJR使用時：約1年（総トリハロメタン除去寿命　約1年）　**（注5）**
ろ材の種類		不織布フィルター・粒状活性炭・粉末活性炭・中空糸膜
除去できる成分		遊離残留塩素・濁り・総トリハロメタン
除去できない成分		水中に溶け込んでいる鉄分・重金属類（銀・銅・鉛など）や塩分（海水）
カルシウム添加		強制溶解添加方式、添加筒内蔵
電源コードの長さ		約3 m
電源保護装置		電流ヒューズ：5 A
過昇温度保護装置（絶縁トランス内）		過熱防止器（自動復帰式、作動温度：120 ℃） 温度ヒューズ（作動温度：150 ℃）　2個

※ 数値は水温20 ℃時の値です。　※ 硬水を軟水に変えることはできません。
（注1） アルカリイオン水、酸性水で使用できる水は、ろ過流量・ろ過能力の約75％に相当します。
（注2） 水質・使用環境によって短くなることがあります。
（注3） JIS S 3201 試験による除去率 80 ％の値。
（注4） JIS S 3201 試験によるろ過流量の 50 ％の値。
（注5） 1日30 L使用した場合です。1日60 L使用すると、ろ材使用限界は約半分になります。
使用水量・水質・水圧によって大幅に短くなることがあります。

本体を移設するときには

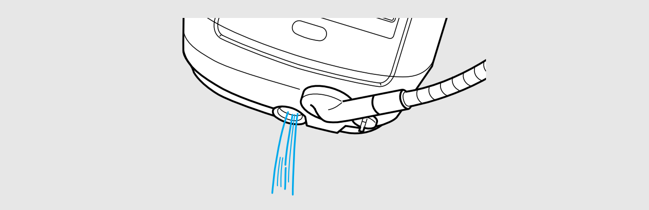
転居などで本体を移設する場合は、輸送時に水漏れすることがありますので、事前に本体の水抜きをしてください。



1 電源プラグを抜き、再度差し込む

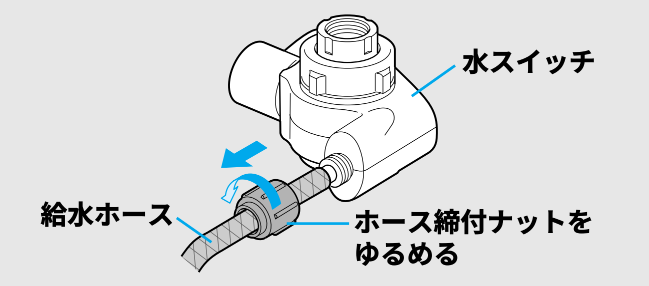
- 約１５秒間「洗浄中」が点滅し、排水口から水が出ます。

- この動作を2～3回繰り返し、電源プラグを抜いてください。



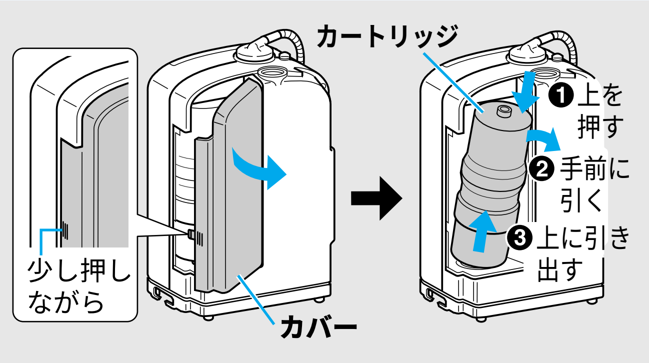
2 カルシウム添加筒をはずし、本体を逆さまにして 内部の水を排水する

- カルシウム添加筒内にカルシウムが残っている場合は、きれいに取り除いてください。

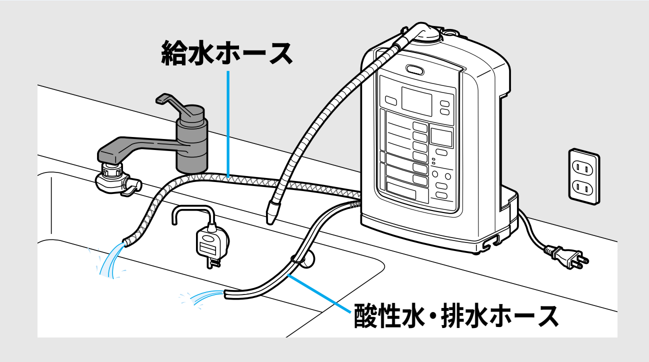


3 水スイッチから 給水ホースを取りはずす

- 給水ホースをはずした後は、ホース締付ナットを水スイッチに元どおり取り付けてください。（ホース締付ナットの紛失を防止するため）



4 カートリッジを取りはずす



5 給水ホース先端を本体より低い位置に置いて、 ホース内の水を排水する

- 酸性水・排水ホースを酸性水スタンドから取りはずし、本体より低い位置に置いてください。
- **取りはずした添加筒とカートリッジは、もとに戻してください。**

お願い

- この方法でも十分に水抜きされていないことがありますので、輸送時には水漏れを考慮して包装してください。

水スイッチを取り付ける

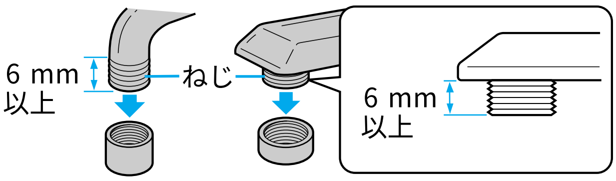
水栓の確認

水スイッチを取り付ける前に、お使いの水栓の確認をしてください。

■ 取り付けできる水栓

外側にねじがある水栓

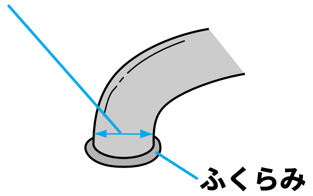
ねじ径：22 mm



取り付けかたは49ページ

先がふくらんでいる水栓

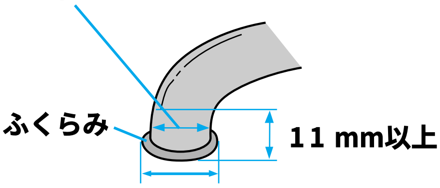
パイプ径：16 mm・19 mm



取り付けかたは50ページ

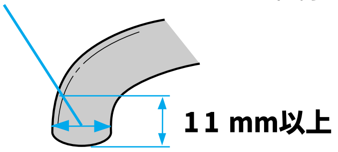
● 先がふくらんでいる水栓

パイプ径：16 mm・19 mm以外



● ストレート型

水栓先端径：13 mm～24 mm未満



取り付けかたは51ページ

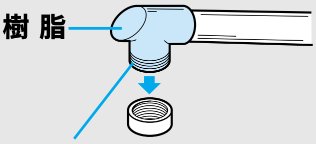
お 願 い

- 水を止めても水栓から水が「ポタ、ポタ」と落ちているときは、水栓を修理して取り付けてください。（故障の原因になることがあります。）

■ 取り付けできない水栓

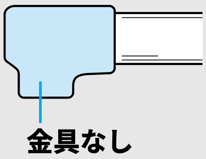
樹脂でできている

（水栓先端の樹脂部が割れる原因）

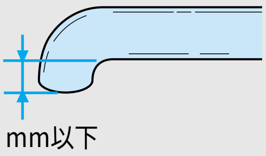


※ ねじ部が金属のものは取り付け可能

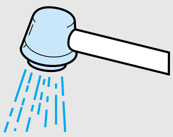
金具がない



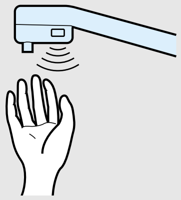
先端部が10 mm以下



シャワーノズル付



センサー付



そのほかにも変形水栓や、ねじ径（22 mm以外）やパイプ径の違うものがありますので、ご注意ください。

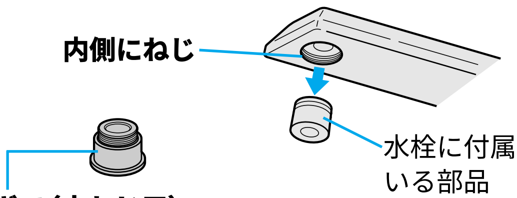
※ 分岐水栓を使用すると取り付けできる場合がありますので、販売店または工事店にご相談ください。

水スイッチを取り付ける(つづき)

水栓の確認

■ 別売品(44、45ページ参照)を使用して取り付けできる水栓

内側にねじがある水栓

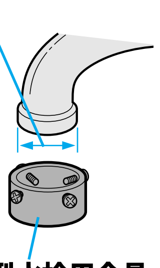


「泡沫水栓用つぎて(内ねじ用)」

品　番：
PRV-D8623K(KVK製水栓用　W23、山20)
PRV-D8623M(ミズタニ・MYM製水栓用　W24、山20)
PRV-D8623G(GROHE・カクダイ・MOEN製水栓用 M24、ピッチ1 mm)

大型の水栓

水栓先端径：24 mm～32 mm



「大型水栓用金具」
品　番：P-06JR
(内径32.5 mm)

分岐水栓　●分岐水栓を使用する場合は、水スイッチは使用しません。

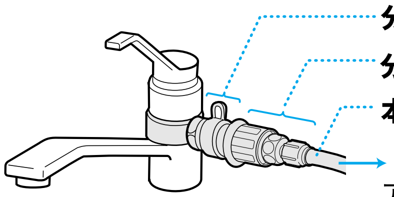
別売りの「分岐水栓」と「分岐水栓アダプター」(品番：P-A3604)が必要です。
(食器洗い乾燥機などと同時に設置する場合は、2分岐コックも必要です。)

分岐水栓で設置する場合は、付属の「分岐水栓による設置について」の手順で、必ず販売店または工事店に別途ご依頼ください。

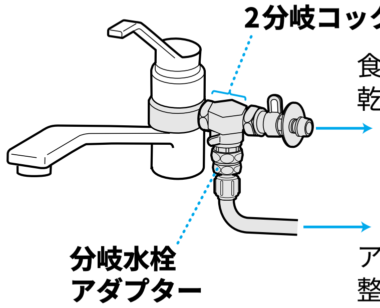
分岐水栓については、食器洗い乾燥機専用「水栓メーカー別 分岐水栓ガイド」に記載されている分岐水栓の中から選定してください。
(それ以外の分岐水栓を使用すると、故障の原因になることがあります。)

- 分岐水栓は、水栓メーカーや型式によって使用する分岐水栓が異なります。
- 水栓の形状によっては、一部取り付けできないものがあります。
- 取り付けかたは「分岐水栓」・「分岐水栓アダプター」に付属の説明書を参照してください。

取り付け例

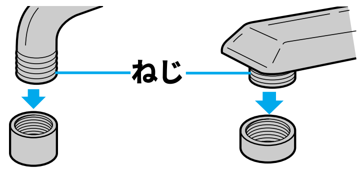
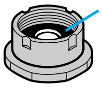
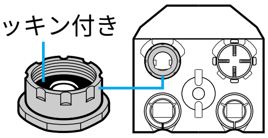


●食器洗い乾燥機などと同時に設置する場合

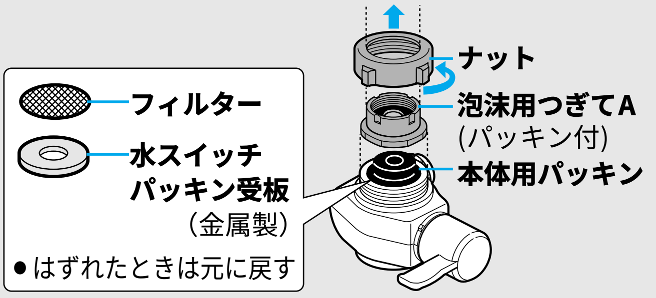


取り付けかた

- 使わない部品は、転居時や水栓の取り換えなどにそなえ、保存しておいてください。

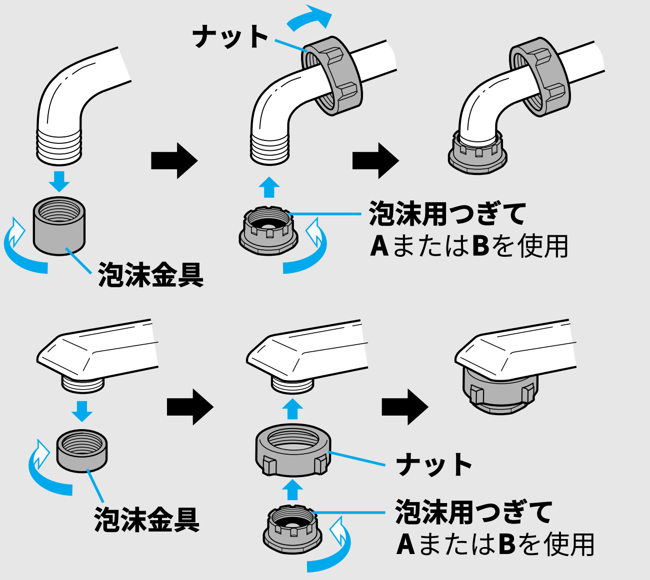
外側にねじがある水栓（ねじ径22 mm）	使用する付属品
	泡沫用つぎてA ※水スイッチに装着  または 泡沫用つぎてB 

1 水スイッチの 取り付け部をはずす



2 水栓の 泡沫金具を取りはずす

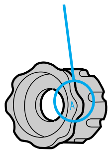
3 水栓に ナットと泡沫用つぎてを取り付ける



- 泡沫用つぎては、まっすぐにねじ込んでください。
（ななめにねじ込むと、ねじ山がつぶれ、水漏れの原因になることがあります。）

水栓に合ったつぎて（AまたはB）を選んでください。

AまたはBの表示があります。

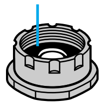


適合水栓

つぎてA（ベージュ）：（水スイッチの装着品）
TOTO・INAX・MYM製水栓など

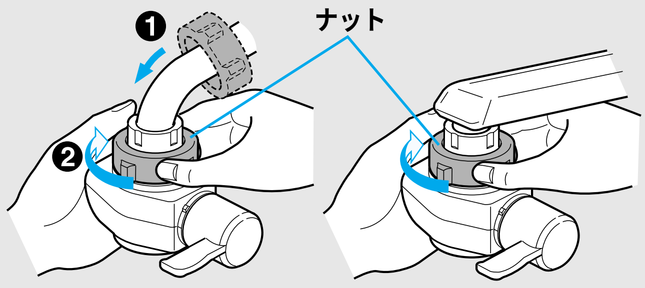
つぎてB（白色）：（本器の付属品）
YANMAR・GROHE・MOEN製水栓など

パッキン



水栓メーカーが分からない場合は、つぎてのパッキンをはずし、「軽く回して根元まで締まる方」を選んでください。取り付けるときはパッキンをもとに戻してください。

4 ナットを確実に締め付ける

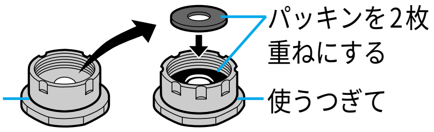


お願い

- ナットの締め付けには、工具を使わないでください。（ナットの破損の原因）

泡沫用つぎてから水が漏れる場合

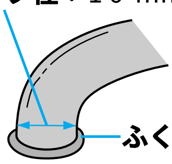
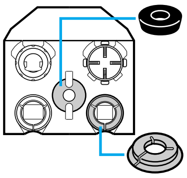
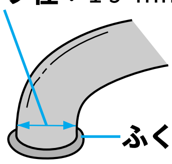
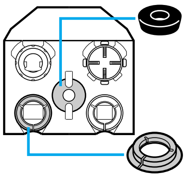
パッキンを2枚重ねにして、取り付けてください。

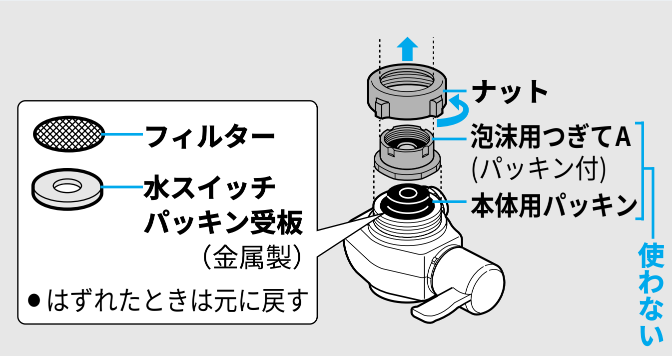


水スイッチを取り付ける(つづき)

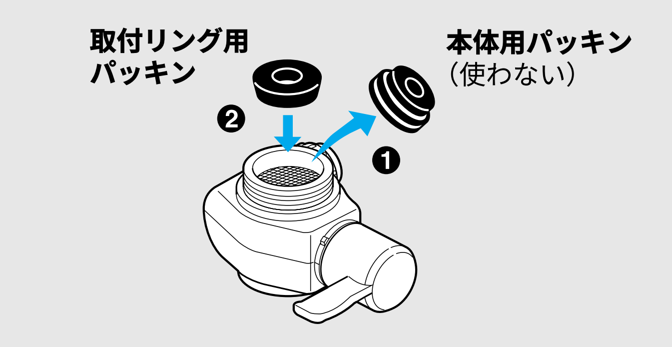
取り付けかた

●使わない部品は、転居時や水栓の取り換えなどにそなえ、保存しておいてください。

先がふくらんでいる水栓	使用する付属品	先がふくらんでいる水栓	使用する付属品
パイプ径：16 mm  ふくらみ	 取付リング用パッキン / 取付リング(小・白)	パイプ径：19 mm  ふくらみ	 取付リング用パッキン / 取付リング(大・ベージュ)

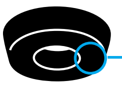


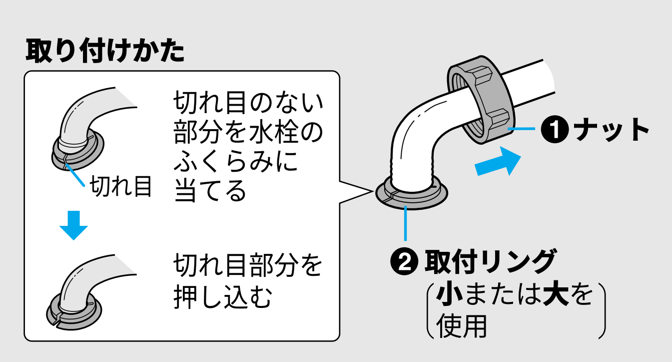
水スイッチの
1 取り付け部をはずす



水スイッチの
2 パッキンを取り換える

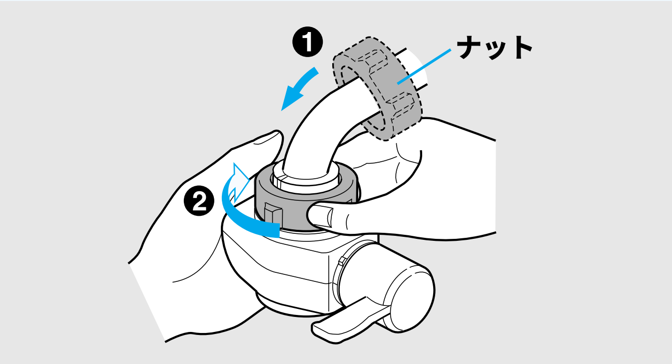
●取付リング用パッキンは、番号があるほうを下にして取り付けてください。





ナットを通し、水栓に合った
3 取付リングを取り付ける

●**取付リングがうまく取り付かない場合は**
付属の**取付金具**で取り付けてください。
(取り付けかたは51ページ)

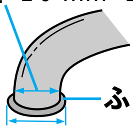
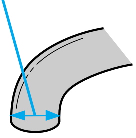
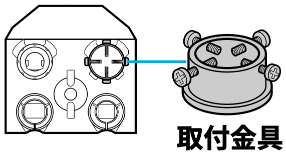


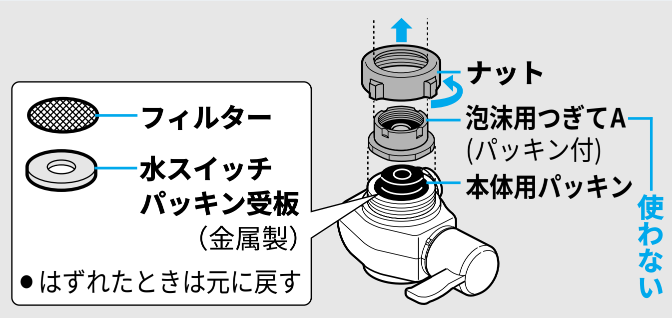
4 ナットを確実に締め付ける

●**水が漏れる場合は**
付属の**取付金具**で取り付けてください。
(取り付けかたは51ページ)

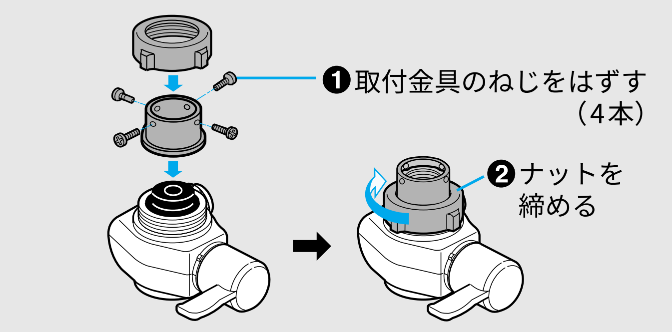
お願い

●ナットの締め付けには、工具を使わないでください。(ナットの破損の原因)

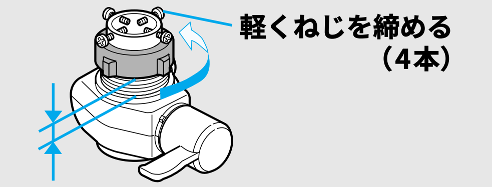
● 先がふくらんでいる水栓	● ストレート型の水栓	使用する付属品
パイプ径：16 mm・19mm 以外  ふくらみ 13 mm～24 mm 未満	水栓先端径：13 mm～24 mm 未満 	 **取付金具** （ねじ4本付）



水スイッチの
1 取り付け部をはずす

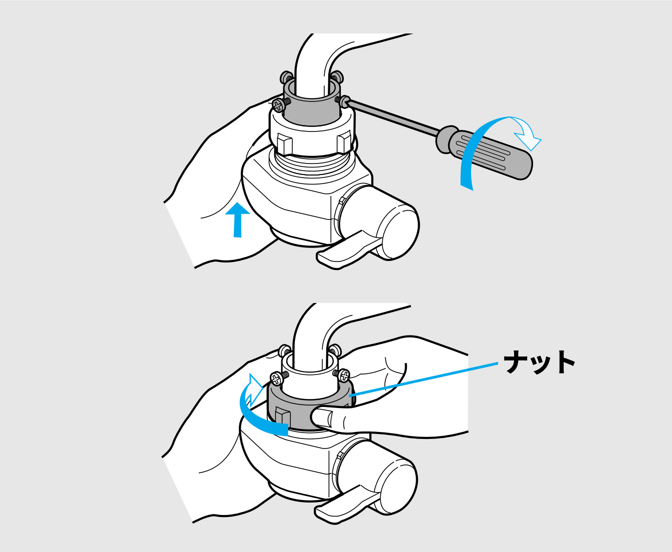


水スイッチに
2 取付金具を取り付ける



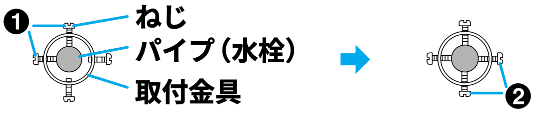
● すきまが3 mm～4 mmになるまでナットをゆるめる

3 軽くねじを締め、ナットをゆるめる



水栓に本体を押し付けながら
4 取り付ける

● 取り付けかた



❶パイプが中央にくるように、奥の方のねじ2本をパイプに当たるまで、手で締める

❷残りのねじ2本をドライバーで締める

5 ナットを確実に締め付ける

お願い

● ナットの締め付けには、工具を使わないでください。（ナットの破損の原因）

本体を設置する

設置上のお願い（本体・水スイッチ）

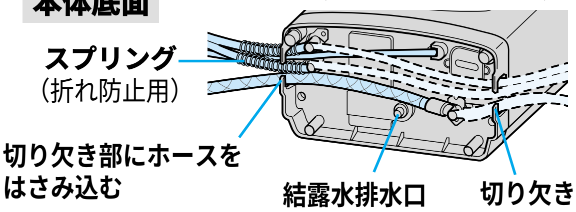
■ **次のような場所には設置しないでください。**（故障の原因）

- 火を使用しているところ
  その他の高温部（60 ℃以上）の近く
- 直射日光のあたるところ
- 油が付着するところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 浴室や風雨にさらされるところ
- 凍結の可能性のあるところなど

■ **水の出口を市販のホースなどで延長しないでください。**（故障の原因）
延長するときは、別売品の「延長吐出管」「酸性水・排水ホース（長さ 2.5 m）」をお使いください。
（44ページ参照）

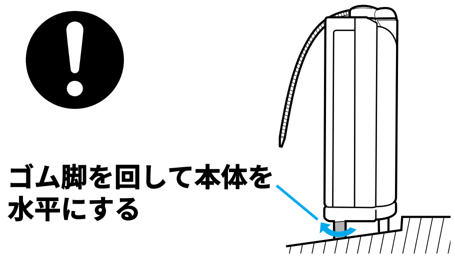
■ **お湯専用の水栓には取り付けないでください。**（故障の原因）

はじめに、設置場所に合わせて、ホースを引き出してください。（つぶれたり、折れたりしないように）



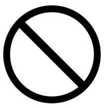
⚠ 注意

■ 本体が水平になるように設置する



不安定な状態で設置すると転倒し、けがをすることがあります。

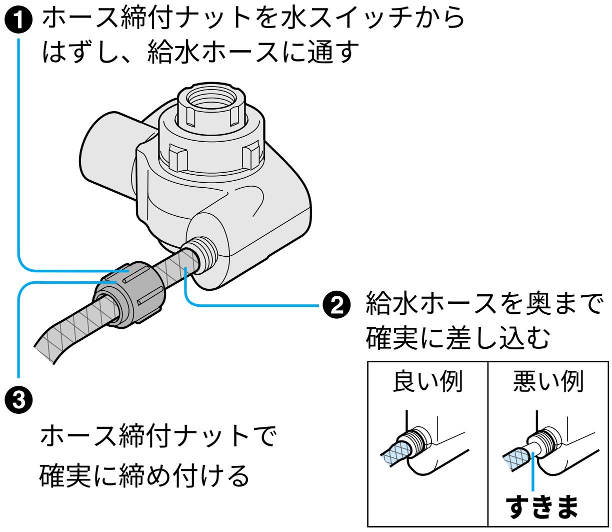
■ 水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない



水漏れや適切な pH 値の水が出なくなる原因や故障の原因になることがあります。

1 ホースを引き出したあと 給水ホースを接続する

❶ ホース締付ナットを水スイッチからはずし、給水ホースに通す



- 工具を使わないでください。
  （ホース締付ナットの破損の原因）

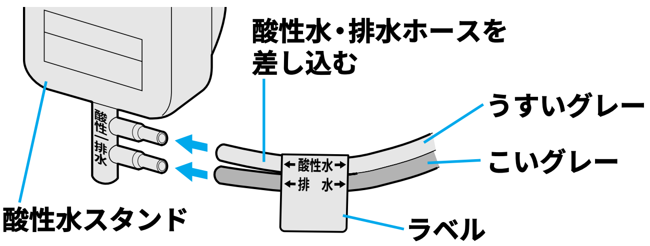
お知らせ

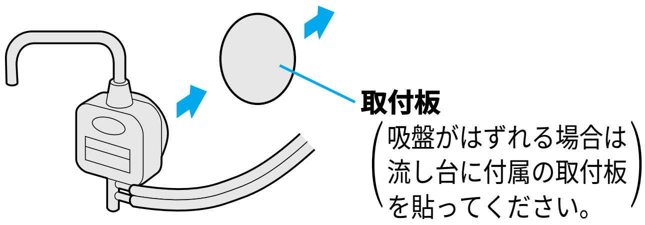
- ホースが長すぎる場合は、ホースを切って使用することをおすすめします。
  （切るときは、なるべくまっすぐ切ってください。）
- 酸性水・排水ホース根元部のスプリングは、酸性水・排水ホースが折れるのを防止するためのものです。

4 酸性水スタンドを取り付ける

ホースの接続

- ホースに貼っているラベルの表示に従って接続してください。





2 給水ホースを固定する

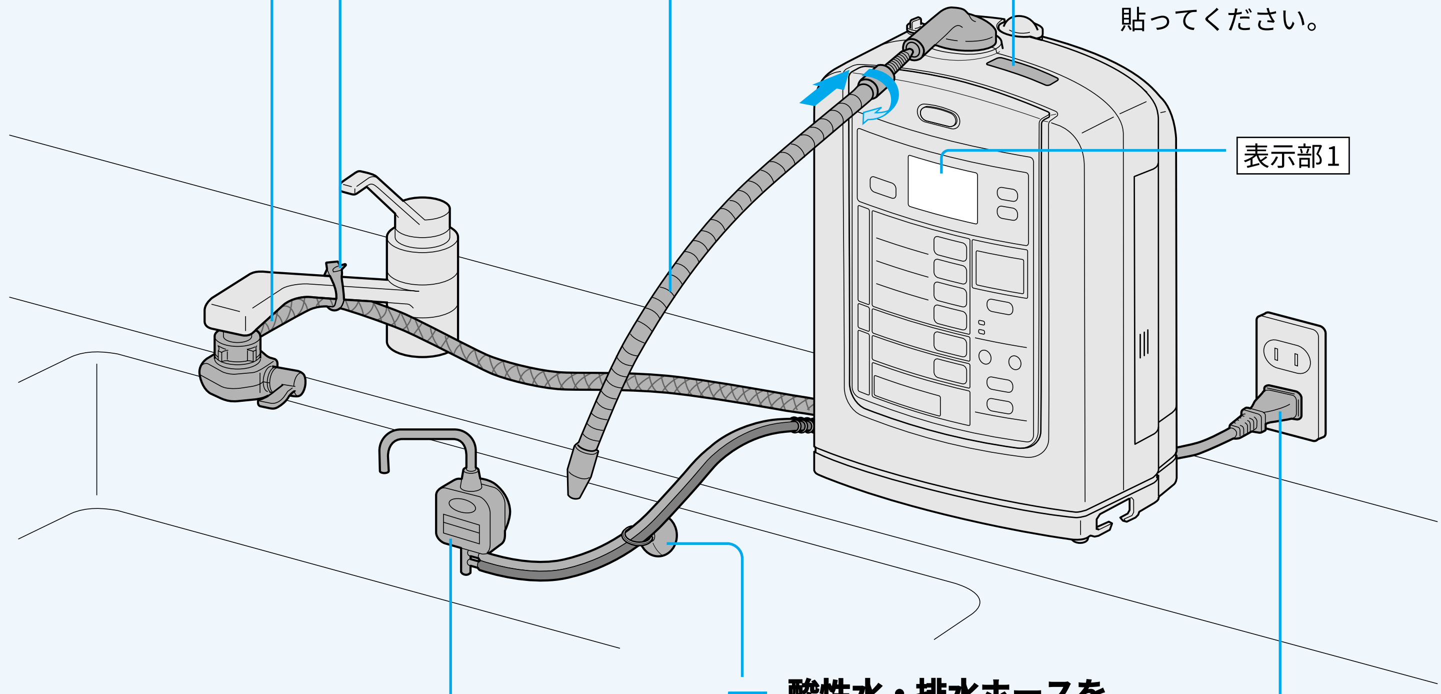
（ホース固定バンドを使う）

3 吐出管を止まるまで確実にねじ込む

- 工具を使わないでください。（破損の原因）
- 吐出管を持って、本体を持ち上げないでください。（破損の原因）

水信号ラベル

- 設置位置によって見えにくくなる場合は、付属の水信号ラベルを本体の見やすい位置に貼ってください。



5 酸性水・排水ホースを吸盤で固定する

6 電源プラグを差し込む

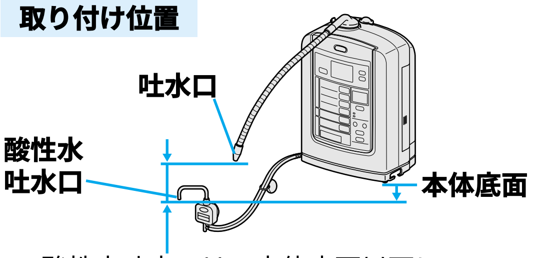
（交流100 V）

- 「ピッ・ピッ・ピッ」と鳴り、表示部1に約15秒間「洗浄中」の表示が点滅した後「アルカリ（飲用初期）」の水質表示ランプが点灯します。
- 待機時も約0.7 Wの電力を消費しています。

お願い

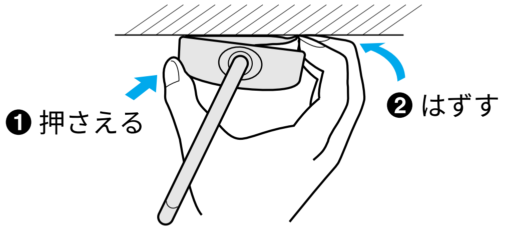
- 通常は電源プラグを抜かないでください。

取り付け位置



酸性水吐水口は、本体底面以下に
また、吐水口と酸性水吐水口の高低差は
10 cm以上50 cm未満に
〔適切なpH（イオン濃度）を得るため〕

酸性水スタンドのはずしかた



カートリッジ品番ラベル（付属品）

- 必要事項を記入し、本体の見やすい位置に貼ってください。交換用ろ材（カートリッジ）を購入するとき、品番の確認に便利です。

お知らせ

- 本体を壁に掛けて使用したいときは、別売品「壁掛けセット」をお求めください。（7、44ページ参照）
- 設置直後は、通水すると水信号ランプが約23秒間点滅後、点灯に変わります。

保証とアフターサービス（よくお読みください。）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（ただし、消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。）

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このアルカリイオン整水器の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

３８～４３ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	アルカリイオン整水器
品　番	ＰＪ－Ａ７８
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは　365日）
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**
３６５日／受付９時～２０時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック
修　理　ご　相　談　窓　口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

・お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
・携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

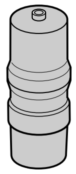
地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0102

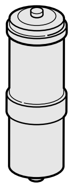
こんなときには

主な消耗品（消耗品は、44、45ページに記載しています。）

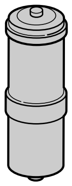
- **交換用ろ材（カートリッジ）〔白色〕**
  （カートリッジ寿命：約2年
  総トリハロメタン除去寿命：約6ヵ月）
  品　番：P-77MJR
  希望小売価格：11,000円（税別）



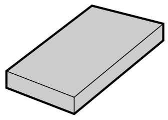
- **交換用ろ材（カートリッジ）〔白色〕**
  （カートリッジ寿命：約6ヵ月
  総トリハロメタン除去寿命：約6ヵ月
  溶解性鉛除去寿命：約6ヵ月）
  品　番：P-701MJR
  希望小売価格：11,000円（税別）



- **交換用ろ材（カートリッジ）〔青色〕**
  （カートリッジ寿命：約1年
  総トリハロメタン除去寿命：約1年）
  品　番：P-76MJR
  希望小売価格：9,800円（税別）



- **グリセロリン酸カルシウム製剤**
  1　袋：6 g入　12本
  品　番：P-A5101
  希望小売価格：3,800円（税別）
  ※ 電気分解を促進するために使用します。
  カルシウムの摂取を目的としたものではありません。



メモ

販売店名〔　　　　　　　　　　　　〕

電話番号〔　　　　　　　　　　　　〕

愛情点検	長年ご使用のアルカリイオン整水器の点検を！
	こんな症状はありませんか ●電源プラグを差し込んでも何も表示しない ●異常表示（U21～U29）を表示し、処置を行っても再度異常表示が出る ●異常表示（H31～H38）が出る ●その他の異常や故障がある ▶ 以上のような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検を依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	PJ-A78
販　売　店　名	☎（　　　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　　　）　－

〔製造元〕**松下電器産業株式会社**
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
〒812－8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
デバイスカンパニー
〒830－0222　福岡県三潴郡城島町青木島438－1

© Panasonic Communications Co., Ltd.　2003

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ZGS0JA780C　S0101T3052 Ⓓ